はじめに

みなさん，こんにちは。地理のたつじんです。論述地理の世界にようこそ。国公立二次や私大の入試において，地理の論述問題が課されることは多くあります。そうした論述問題について備えは十分にできていますか。当たり前のことですが，論述型の問題と，共通テストでみられるようなマークシート型の問題とでは，求められる技術が全く異なっています。共通テストが得意だからといって，必ずしも論述問題で高得点が取れるかどうかはわかりません。論述問題には特有のスキルやテクニックが必要になります。この「論述地理」の講座では，みなさんの「論述力」を徹底的に鍛えていきます。教科書レベルの知識は十分に身につけたけれども，いざ論述問題に挑戦してみたら，一体何をどうやって書いたらいいかわからない。そんな受験生は多いと思いますが，ぜひこの講座を導入として，論述問題の書き方に習熟してください。解答しやすい問題を取り上げ，ベーシックな知識だけで解答できるようアドバイスしていきます。決してハードルは高くありません。まずは気楽な気持ちで受講してください。この講座を通して，「論述問題って意外と簡単に書けるんだな」と気づいてもらえたら，たつじん先生としてはこんなに嬉しいことはありません。

[問題のセレクトについて]

論述地理の講座は全部で５つの講から構成されています。第１講が「人口と都市」，第２講が「経済活動」，第３講と第４講が「自然環境」，第５講が「地誌」をそれぞれテーマとしています。各講につき練習問題を３問ずつ取り上げており，それぞれのチャプターで一つずつ問題にチャレンジしていきます。いずれも過去の入試問題で，出典は東大と京大です。

この２つの大学の問題をセレクトした最大の理由は「オーソドックス」であることなのです。みなさんの中には，東大と京大の入試問題だからといって，いたずらに「難易度が高い」と思い込んでいる人はいませんか。実はそれは大間違いなのです。論述問題のレベルとしては一橋大や東京学芸大の方がはるかに難しいですし，文章の長さも筑波大や阪大の方がよっぽど長いのです。東大や京大の問題は質が高いものが多く，奇をてらったものやいたずらに受験生を困らせる問題は出題されておらず，解答しやすい「親切な問題」が揃っているのです。論述問題で最も手強いのは「一体何を答えたらいいのかわからない」というパターンだと思います。いきなりそうした難易度の高い問題を解いてみても，むやみに苦手意識ばかりが高まるばかりですよね。まずは東大や京大のオーソドックスで親切な問題に挑戦してみて，論述のコツをつかんでみましょう。一橋や筑波など難易度の高い問題にチャレンジするのはその後でも遅くありません。

[予習について]

授業は問題解説の形で進んでいきます。前述したように各講座につき３問ずつ問題が取り上げられています。まずはこちらに取り組んでみてください。なかなか簡単に

は解けないとは思いますので，ぜひテキストを参照してください。いろいろなアドバイスを記しておきましたし，中にはほとんど答えを言ってしまっている部分もあります。テキストについては，できるだけ「簡単な説明」を心がけています。例えば，すでにみなさんの中には過去問集や参考書，問題集などでさまざまな論述問題を解いており，そちらの解説も熟読している人もいると思います。もちろんそこでは「高度な知識」や「難しい表現」を用いた完璧な解答が披露されているわけで，この講座におけるたつじん先生の解説や模範解答では物足りなさを感じる人もいるかもしれません。しかし，私は考えるのですが，果たして大学受験レベルで完璧な解答など必要とされているのでしょうか。そもそも大学入試は満点を取る試験ではありません。後述しますが，場合によっては50％程度の得点率で十分に合格圏に達することはできます。また，地理には自然地理や人文地理，さらには時事や経済までさまざまな分野が含まれます。入試問題もそうした多様な分野からまんべんなく出題されているのですが，それら全部に完璧な解答ができるスーパーマンがいるのでしょうか。大学の先生ですら自然地理を専門とする人や人文地理を専門とする人などそれぞれ分野が違うのですから，例えば土壌と気候の関係を研究している先生が，2000年代の日本企業の海外における生産活動について，専門的に解説できるでしょうか？　みなさんに全分野にわたって100％の解答が求められるわけがありません。論述問題については気楽に考え，簡単な知識で，シンプルな文章で，当たり前のことを当たり前に書くという姿勢を徹底させてください。「論述問題は難しいものだ」と思い込んでしまうと負のスパイラルにはまってしまいますよ。自分の知っていることを，複雑な表現は用いず，簡単に書き綴ってみませんか。とにかく「Take It Easy!」です。不完全でも構いませんので，まずは「書いて」みましょう。

　なお，字数制限の80％には必ず達するようにしましょう。30字ならば24字，60字ならば48字は超えるようにしてください。これは厳密なものではありませんが，あまりに字数が余ってしまうのは印象が悪いですよ。

　また，こちらも絶対ということではありませんが，「理由」の説明が求められている場合は，文末を「～から」，「～ので」で締めくくることを意識してください。ただし，字数に余裕がない場合などは省略してもやむを得ないでしょう。

[論述のコツ]

　上でも述べていますが，最初から完璧な解答を書こうとしても，なかなか筆が進まないものです。最初のうちは教科書や参考書を用い，さらにはテキストを大いに参考にして，とにかく自分なりの文章を仕上げてください。どんなことにも言えると思いますが，「慣れること」こそ大事なのです。最初はうまく書けなくて当たり前です。でも焦らないでください。問題をこなし，経験値を上げることで必ず文章力，論述力は上がっていきます。根気強く問題にチャレンジしていきましょう。

　さらに，この「完璧を目指さない姿勢」が本当に大切なのです。すでに述べているように，東大や京大の問題は難易度そのものは決して高くなく，むしろ，全ての国公立二次の入試問題の中で最も容易といっていいぐらいなのです。しかし，だからといっ

て完璧な解答が必要とされているわけではなく，せいぜい50％程度の得点率でも合格者はいくらでもいるのです。もちろん，比較的難易度が低い記号選択問題や語句記述問題で高得点を稼ぐことが条件になりますが，少なくとも論述部分については比較的正解率が低くとも全く問題ないわけです。完璧な解答を作ろうとして四苦八苦するより，とりあえず文章を書き進め，不完全ではあっても自分なりの文章を作り上げることが大切です。

もちろん，ある程度の知識は求められていますから，少なくとも教科書レベルの内容はマスターしておいてくださいね。しかし，何度も繰り返しますが，そもそも完璧な解答は求められていません。はっきり言えば，このテキスト内で示している模範解答にしても100点満点が取れるものとは思っていません。しかし，それでいいのです。確実に部分点を稼いで，その積み重ねで合格を目指す！こういった姿勢を徹底してくださいね。

では，論述問題攻略のポイントを整理しておきます。

１）問題内容をしっかり把握し，これにキチンとレスポンスする。

一体何を書けばいいのか，どんなことについて述べることが求められているのか。焦って書き始めるのではなく，問題文をしっかり読み込み，まずは落ち着いて思考を巡らせてください。

２）あくまで部分点狙い。欲張らない解答を。

大学入試は満点を取る試験ではありません。論述問題にしても完璧な解答を仕上げることを考えず，「50％を確実に，あわよくば80％」を目指してください。十分に合格圏に達せます。

３）確実な知識にのみ言及。あいまいな知識はスルーする。

あれもこれもといろいろな内容を詰め込みたくなるのが論述問題ですが，それによってあいまいで不確かな知識にまで手を伸ばしている人はいませんか。間違った内容について言及することで得点が大きくマイナスされることすらあります。あなたが確実に知っている知識をはっきりと述べ，あいまいな知識は避けるのが無難です。

４）定番のキーワードを意識して使えているか。

例えば，寒流沿岸に乾燥地域ができる理由については「大気の安定」，1990年代以降の日本企業の海外進出については「円高」など，定番ともいえるキーワードが論述問題には含まれています。論述問題だから自分の自由に書いていいのではなく，むしろ定型化された部分も多いのです。決まり切った表現を決まり切った形式で用いることも，論述問題攻略のポイントとなるのです。

５）意外と使える箇条書きスタイル。

例えば「砂漠化」の理由について答える場合には，砂漠化のメカニズムについて論理的に説明していたら字数がいくらあっても足りません。「降水量の減少，家畜の過放牧，薪炭材の過剰な伐採」のように，定番のキーワードをひたすら並べていくだけでも十分な解答になります。論述だから「主語と述語のはっきりとした文章」を必ず書かないといけないわけではなく，時にはこうした「箇条書き」スタイルも有効であることも，心に留め置いてください。

６）慣用句表現は用いず，接続詞も最小限に。

国語（現代文）が得意な文章力のある受験生に多いのですが，巧みに慣用句表現が使われ，多くの接続詞によって文章が整えられています。しかし，みなさんが取り組んでいるのはあくまで「地理」の論述問題なのです。文章力の巧拙が問われているわけではありません。淡々と事実だけ述べればいいのであり，文章としての完成度を上げる必要はないのです。逆にいえば，国語の苦手な君たちだからこそ，シンプルで確実な論述解答を仕上げることが可能となります。巧みな文章を書こうという姿勢を捨て，不器用でいいから求められている内容のみしっかり解答する心構えを持ってください。

７）組み立てや説明の順序も工夫してみよう。

文章力は不要といいましたが，文章の組み立てや説明の順序には十分な注意を払ってください。例えば「熱帯の土壌について説明せよ」という問題が問われた場合，極端な話，「ラトソルである」だけで説明は終わってしまうのです。しかしこれではおそらく解答条件（字数など）を満たせないでしょう。「赤色の」，「酸性土壌」，「金属を含む」のような説明をここから加えていくことになるのです。「ラトソルである。赤色の酸性土壌で金属を含む」としてもいいですし，「金属を含む赤色の土壌であるラトソルで，酸性である」でも構いませんし，「金属を含む酸性で赤色のラトソル」でも大丈夫でしょう。いろいろ工夫してみてください。

８）使用語句の指定がされている場合，それら自身が問題を解くカギとなる。

論述問題の中には，使用する語句が指定されているものがあります。こういった問題については，まず語句を慎重に吟味してください。出題者側はそういった言葉を用いて答えさせようとしているのですから，（普通の問題以上に）こういった問題については出題意図が明確なはずです。つまり，出題者の「こういった語句を使って，ぜひこうした文章を書いてくださいね」というメッセージが強く表されており，みなさんもこれに従って素直に解答を仕上げることが求められるのです。何を書いたらいいか迷うような問題であっても，使用語句を手掛かりに解答が想像できることがあります。使用語句が指定されている問題こそ，大きなヒントが示されているのです。出題者の意図に沿って，素直に文章を書き進めましょう。

９）語句の濫用は避けるべきである。

上と類似したパターンで，多くの語句が示されていて，その「いくつか」を使った解答が求められる問題があります。こうした場合，できるだけ多くの語句を使用して文章を書き上げようとする意識がどうしても働きますが，私はそれはお勧めできません。語句の中には，文章を書く際のヒントとなるものもあるのですが，難解な説明が必要となるものがあります。すでに述べているように，みなさんが述べるのは「確実な知識」であり，「あいまいな知識」については誤りの可能性がある以上，触れるべきではないのです。示された語句全ての使用が強制されているわけではない問題の場合，やみくもに語句を文章中にちりばめるのではなく，無理せず確実な語句のみ使い，自分の理解できる範囲で確実な解答を心がけましょう。

10）字数制限は80％を目安に。

論述問題の多くは字数制限が与えられているわけですが，その80％は最低限満たすようにしましょう。文章は，短いものを長く伸ばすのは困難ですが，長いものを短く縮めるのは比較的容易です。少し文章が長すぎるかな？ぐらいの分量で最初は書いてみて，そこから少しずつ語句を削ったり，表現を改めたりして，長さを調整してみましょう。ただし，文字数は一字でもオーバーしたら採点対象外です。最悪の場合，「どうしても言いたいこと」をカットする必要性も生じるかもしれませんが，そこは部分点狙いと割り切って，文章を文字数制限内に収める努力をしてください。

以上，論述問題対策として思うところを書き連ねてきました。少しでも参考になるところがあったなら，大変嬉しいです。結局，論述問題は「簡単」に「シンプル」に書くことが求められているのです。難しく考えず，気楽な気持ちでチャレンジしてください。マークシートの問題を解くだけでは得られない，論述問題を解いてこそわかる地理という科目の深さに，あなたは魅入られるはずです。

さあ，「論述地理」の世界の扉を開けましょう。

地理　鈴木達人

目　次

第１講　人口と都市に関する論述問題 …………………………… p8

第２講　経済活動に関する論述問題 …………………………… p24

第３講　自然環境に関する論述問題（１） …………………………… p42

第４講　自然環境に関する論述問題（２） …………………………… p62

第５講　地誌に関する論述問題 …………………………… p80

※本テキストは，一部問題において東京大学・京都大学の入試問題を改変して使用しております。詳細はテキストをご確認ください。

このテキストは2020年度版です。年度切り替わりの前後に講座ページに掲載予定の時事更新一覧をご確認頂くことで，来年度以降もこのテキストをそのままお使い頂けます。

〈*Note*〉

第１講
人口と都市に関する論述問題

［１－１］

世界の人口に関する問題になっています。

設問Ａを解いてみましょう。年間の人口増加割合については，具体的な数値で覚えておくのがコツです。おおまかに以下のようになります。

2%；アフリカ
1.5%；南アジア・ラテンアメリカ(＊)・オセアニア
0.5%；東アジア・アングロアメリカ
0%；日本・ヨーロッパ

世界平均が１％で，これはアジア全体の平均でもあると考えてください。原則として人口増加率は１人当たりGNIに反比例することを考えてください。そして，その中で中国とアングロアメリカ，オセアニアが例外になるのです。中国は，経済レベルが低い国としては例外的に人口増加率が世界平均を下回っています。アングロアメリカとオセアニアは，先進国でありながら，日本やヨーロッパとは異なり，人口増加率が高くなっています。とくにオセアニアは人口増加率の基準となるそもそもの人口規模が極めて小さいこともあって，値が際立って高いものとなっています。中国の場合は一人っ子政策によって出生率が低下したこと，アングロアメリカとオセアニアの場合は外国から多くの移民が流入していることがポイントになるのは言うまでもありませんね。
(＊)現在，ラテンアメリカの年間の人口増加割合はやや低下しています。1.0%で覚えておくといいでしょう。

設問Ｂについて考えてみましょう。ここで意識するべきは人口動態です。例えば日本においても古い時代の人口動態は「多産多死」でした。出生率と死亡率がいずれも高い値を示し，両者の差である人口の自然増加率も低く抑えられます。
この次の状態として「多産少死」があります。高い出生率がキープされた状態で，

死亡率が下がっていきます。自然増加率は上昇し，人口は急増します。

本問の場合，この人口動態の変化を説明すればいいわけですね。文字数制限は60字であり，字数に余裕がないわけではありませんが，あまり多くのことを詰め込むことはできません。まず最初の段階として，これらの国々が「多産多死」であることを説明しましょう。もちろんこれだけでは人口は増えませんので，次の段階として「多産」がキープされた状態で「少死」となることを説明します。死亡率が下がることについては，成人を取り上げて長命化を述べてもいいとは思われますが，「乳児」というキーワードが挙げられているのですから，乳児死亡率の低下を主に説明したらいいと思われます。なぜ，乳児死亡率が下がったのか，そういったことを具体的な言葉を添えて説明してみましょう。

設問Cはどうでしょうか。(ウ)の国はわかっているはずです。先進国一般ではなく，あくまで(ウ)の国に固有の事例なので，より具体的な記述が求められています。もちろん移民の流入というファクターが重要となるのですが，(ウ)の国における移民にはどういった人々が多いのでしょうか，考えてみましょう。さらに移民の流入ならば「社会増加」による人口増加ですが，果たしてそれだけが理由なのでしょうか。自然増加についてはどのようなことが言えるのでしょうか。字数が限られていますが，そういったことまで言及できればベストに思います。

さらに設問Dです。今度は字数制限が90字ということで，じっくりと腰を据えた説明が必要になってきます。ただ，慌てないでください。キーワードとして「人口ピラミッド」が挙げられています。前半の50字程度で，これらの国の人口増加率が低い理由を説明し(設問Bの形式を意識してくださいね)，後半に人口ピラミッドの説明を続けます。前半のキーワードとしては「出生率」と「平均寿命」がありますが，もちろん「出生率の低下」と「平均寿命の伸び」がカギとなりますし，これらを人口高齢化と結びつけてください。人口ピラミッドについては，その形状を表すキーワードを取り上げましょう。底辺が長い人口ピラミッドは「富士山型」で，これは発展途上国のパターン。それが底辺が短くなる(つまり出生率が下がる)ことで「釣鐘型」に移行し，こちらは先進国のパターンとなります。そして，それがさらに進み，底辺が特に短い不安定な形状として「つぼ型」に移行します。ここでちょっと気をつけて欲しいことがあるのですが，つぼ型は「すでに人口が減少した」人口動態のモデルなのです。もちろん日本など先進国のいくつかの国では人口が減少しているのですが，それでもその減少率は全体の人口の１％には満た

ず，微々たるものといえます。人口が大きく減少している国は存在しないのです（これには20世紀前半のフランスや冷戦期のドイツなどいくつか例外があるのですが，今回の設問とは関係ないので無視します）。よって，人口ピラミッドについても「つぼ型になりつつある」のような言い方で説明すると良いと思われます。

［１－２］

都市圏の開発に関する問題です。こうした都市開発に関する話題は近年とくに注目が集まっています。21世紀の社会事象として捉えていきましょう。

まず設問**A**です。「鉄道」が整備され，「郊外」との交通条件が整備されると必然的に，都心と郊外との「時間距離」が短縮されます。都心からの人口流出と，郊外への人口流入について，それぞれ簡単な理由を付して説明すればいいでしょう。前後しましたが，こうした都市圏の開発の状況を鑑みれば，最初の問題の答え（**ア**あるいは**イ**）は簡単に導かれます。

続いて設問**B**では，スプロール現象がなぜ都市の発展に好ましくないのか。その理由が問われています。基本的にはスプロール現象をそのまま説明すればいいでしょう。文末を「から」，「ため」で締めくくれば更に好ましい解答となりますが，特にそこまでこだわる必要もないと思います。

まずスプロール現象について。「郊外における虫食い状（無秩序）の乱開発」が最もシンプルな解答です。そもそもの意味は，都市型土地利用と農村型土地利用の混在ですので，「農地や林地の中に住宅や工場が混在する」という言い方も可能です。

しかし，これだけでは今回の設問の要求を満たせません。スプロール現象がなぜダメなのか，ということを説明するのです。意外にこの部分について詳しくない人が多いのではないですか？

スプロール現象については，あくまで経済用語と考えることが肝心です。例えば，３軒の家が建てられる場合，それぞれバラバラな場所に建てたならば，それぞれに道路や電線，下水道などを建設しないといけないわけで，非常に無駄が大きいのです。学校や公民館などの公共施設も必要になるでしょう。せっかくなら，計画的に３軒をまとめて一つの住宅地とし，そこに集中して道路などのインフラ，

学校などの施設を建設した方が効率的ですよね。

例えば，スプロール現象の反対の概念は「ニュータウン」です。郊外にニュータウンなど住宅団地を建設すれば，その周辺を開発するだけでよく，都市開発がスムーズに行われるのです。スプロール現象，すなわち住宅が林地の間に無秩序に配置されることの弊害を，整備されたニュータウンの反対の概念として説明してみてください。

使用語句については，「道路」は問題ないでしょう。「道路や○○などのインフラ」とすれば字数も稼げます。「公共投資」は言うまでもありませんね。「公共投資が効率的に行われない」とすればいいのです。これに対し悩むのが「利便性」ですが，逆にいえばこれはスプロール現象を説明するための必須ワードではないのです。字数制限にも余裕がありますし（むしろどうやって字数を稼ぐか悩む），最後に「住民の利便性が損なわれるため」程度の「締めの言葉」として用いれば十分でしょう。

さらに設問Ｃです。（１）では日本型ニュータウンの問題点の説明が求められています。ポイントは２つです。一つは「通勤ラッシュ」の問題。もう一つは「地域コミュニティ」に関する問題。前者はわかりやすいですが，後者は難しいでしょうか。都心部への通勤者が多く昼間人口が少ないため，いわゆる「ご近所づきあい」がされにくいという問題が生じます。このことを「地域コミュニティ」という言葉を用い，説明してみてください。

（２）は非常に重要な問題です。ニュータウンにおいては開発時に20～30代の若い世代が入居してきたことで，彼らおよび子供の世代に年齢層が偏っています。「人口は減少していない」つまり新たな転入者が少ない中で，どのような年齢構成の変化が生じ，結果として「小学校の統廃合」が行われているのか考えてください。文字数が多ければ，ニュータウン開発から10年ほどで，小中学校が多数新設されたことも述べてほしいのですが，今回はそこまで字数に余裕はないようですね。小中学校が減った，すなわち児童や生徒が減少したことに特化して説明してみましょう。ちなみに小学生が児童，中学生が生徒ですので，ちょっと気をつけてください。

［１－３］

都市に関する問題です。共通テストではあまり都市名に関しては出題されないので，共通テストを中心に勉強してきた人にとってはこの辺りが盲点となってしまいます。二次試験突破を目指しているみなさんは，この部分は意識して勉強量を増やすべきです。

では（１）について考えてみましょう。都市ではなく，大都市圏の人口なので注意が必要です（都市圏は都市の影響範囲なので，行政区分の都市よりは規模が大きくなることがあります）。とはいえ，とりあえず大都市の数は限られていますのである程度有名な都市が登場しているはずで，細かな知識が要求されているわけではありません。

それよりも，それぞれの国の人口規模が重要となるのが分かるでしょうか。表より「当該都市の大都市圏人口」と「全国人口に当該都市の大都市圏人口が占める比率」から，その国の人口が概算されます。Ａ～Ｅが含まれる国について人口を計算してみましょう。Ｄの都市が明確になり，おのずと「首都でない都市」もはっきりします。

（２）はとくに発展途上国において顕著なパターンですね。特定の大都市に投資が集中することで，その国において突出した「たった一つの都市」が形成されます。農村からの人口流入が激しく，スラムが形成される場合も多々あります。

都市Ｂに関する問題が（３）です。Ｂの含まれる国の人口規模は7000万人で，これは大きな手がかりになります。また経度的に考え，日本からの距離が比較的近いこともわかります。南北回帰線内という条件を考えれば，おそらく東南アジアの国なのではないでしょうか。人口規模から国を特定しましょう。

さらにこの問題のポイントは，Ｂの含まれる国の具体的な状況が問われている点です。東南アジアならば当然日本の工場が進出しているはずですし，とくにこの国は日本との間で自動車（自動車部品）については自由貿易が成り立っています。自動車にまで言及する必要はありませんが，都市周辺に立地する施設として「工業団地」は絶対的なキーワードになるでしょう。これを中心として，あとは各種のインフラ（高速道路や空港）や商業施設（ショッピングセンター）なども字数稼ぎのアイテムとして使いながら，文章を組み立てるのです。

（4）については都市および国の判定は難しくないと思いますので，この部分は明かしてしまいますが，メキシコの首都メキシコシティです。低緯度にあるものの，高原に位置するため気温が低く，熱帯気候には分類されません。

メキシコシティは深刻な大気汚染で知られる都市です。その理由をいくつか紹介しましょう。

1）酸素濃度が低いので，エンジンが不完全燃焼を起こし，大気中の一酸化炭素濃度が上昇。
2）排気ガス（窒素酸化物）と激しい日射によって光化学スモッグが発生。
3）かつての湖底であり砂地であるため，砂埃がひどい。
4）降雨が少なく，雨による空気の洗い流しが少ないため，大気汚染物質が大気中に多く浮遊する。
5）盆地に位置し，外気との交換が少ないため，汚染された大気が滞留する。
6）アメリカ合衆国からの中古車が多く，性能が低いため，排気ガスの排出も相対的に多い。

もちろんこれを全部記述することは不可能ですし，そもそも本格的にこうした状況を説明するならば，例えば一酸化炭素濃度が高いことによってどのような被害が生じるかまで言及する必要があるわけで，さすがに入試レベルでそこまでは求められることはありません。とくに今回は40字という比較的短い字数制限でもあり，さらに「立地条件に関係して」とあるのでさらに内容も限定されると思います。地形的な特徴（盆地であること，標高が高いこと）を軸に据え，いくつかの要素を箇条書きにすれば十分でしょう。

最後に（5）ですが，資源の名称は問題ないでしょう。ラゴスはナイジェリアの人口最大都市にしてプライメートシティ（あっ（2）の答えを言っちゃいましたね）ですが，首都ではないことが重要です。そのナイジェリアの北部はいわゆるサヘル地帯であり，ステップ（草原）が広がっています。この地域からの「人口流出」なのですから，砂漠化に伴う環境難民であることは理解できるでしょう。そう，この問題のポイントはズバリ「砂漠化」なのです。

ただ，字数が中途半端ですね。もっと短ければ，「草原における植生喪失である砂漠化」でおしまいなのですが，さらに文章を増やすことが求められています。ここは砂漠化の原因を書いてみましょう。しかし，一つ一つの原因について細か

く触れていたら字数が足りません。箇条書きを意識して，キーワードを連ねていくという形式をお勧めします。

　砂漠化の原因については，「自然的要因によるものが主で，それに加えて人為的な原因がある」と認識しておいてください。例えば教科書などには「家畜の過放牧」，「薪炭材の過剰な伐採」，「耕作不適地への耕地拡大（過耕作）」，「不適切な灌漑による塩害の助長」などが砂漠化の原因として挙げられているかもしれませんが，それより優先するものとして必ず「降水量の減少」を論じてください。自然的な要因を絶対的なものとして真っ先に取り上げ，その上で人為的な要因も加わるのだ，というニュアンスで文章を組み立てると完璧です。砂漠化の原因についての記述は，論述問題で頻出のネタですが，この機会に書き方を覚えてしまいましょう。

〈*Note*〉

第１講　練習問題

［１－１］　東大　2002年度・第２問

次の表は，各国の人口増加率，65歳以上人口割合，１人あたり国内総生産(GDP)を示したものである。これを見て，以下の設問Ａ～Ｄに答えよ。解答は，解答用紙の(ロ)欄を用い，設問ごとに改行し，設問記号・小問記号をつけて記入せよ。

群	国	人口増加率（%）	65歳以上人口割合（%）	１人あたりGDP（ドル）
X	フィリピン	2.6	5.9	866
	(ア)	1.9	4.3	451
Y	(イ)	1.1	6.9	738
	(ウ)	1.0	12.7	31,456
Z	(エ)	0.5	15.7	26,014
	日　本	0.3	16.0	30,046

人口増加率は1990～98年の年平均。
65歳以上人口割合と１人あたりGDPの年次は1995年から1999年の間で，
国によって異なる。
国連およびIMFの資料による。

設問Ａ

(ア)～(エ)は，アメリカ合衆国，インド，中国，ドイツのいずれかである。(ア)～(エ)の国名を，それぞれ(ア)－○○のように答えよ。

設問Ｂ

Ｘ群の国は人口増加率がもっとも高い。このような国で，人口増加率が高い理由を，次の語句をすべて使用して，60字以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

多産多死　　乳児

設問Ｃ

Ｙ群の国はともに人口増加率が１％程度であるが，１人あたりGDPは大きく異なっている。

（１）（イ）国の１人あたりGDPは，むしろＸ群の国に近い。このことから見ると，（イ）国の人口増加率がＸ群の国に比べて特別に低いとも考えられる。（イ）国の人口増加率がこのように低い理由を30字以内で述べよ。

（２）（ウ）国の１人あたりGDPは，むしろＺ群の国に近く，（ウ）国の人口増加率がＺ群の国に比べて特別に高いとも考えられる。（ウ）国の人口増加率がこのように高い理由を30字以内で述べよ。

設問Ｄ

　Ｚ群のような国々では，近年，総人口の中で高齢者の占める割合が高くなる人口高齢化が，重要な社会問題であると考えられている。このような国で人口高齢化が進む理由を，次の語句をすべて使用して，90字以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

出生率　　平均寿命　　人口ピラミッド

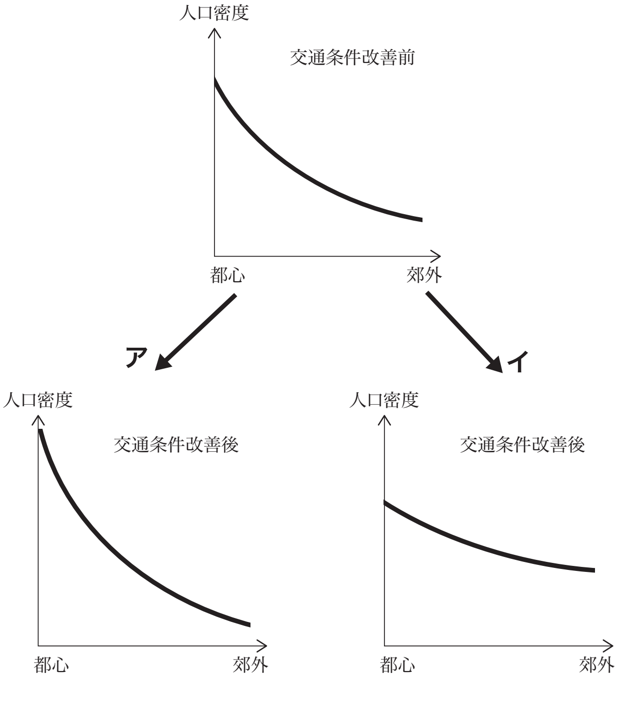
［１－２］ 東大　1997年度・第３問

大都市に関する次の文章を読んで，以下の設問Ａ～Ｃに答えよ。解答は解答用紙の(ハ)欄を用い，設問ごとに改行し，設問番号をつけて記入せよ。

江戸時代における町人の典型的な生活では，就業の場所(作業場や店)と居住の場所(住宅)とは一体であった。しかし，明治以降，近代的工場が立地するようになると，職場と住宅の共存は困難となり，通勤という就業形態が一般化した。第二次世界大戦後，都市における産業活動の中心が事務的部門に移るにつれて，都心地区に立地するオフィスが増え，ホワイトカラーと呼ばれるオフィス勤務者が都心地区に多く通勤するようになった。特に高度経済成長期に入ると大都市圏への人口流入が急増し，放射状の鉄道路線に沿う形で，住宅地が虫食い状に開発されるスプロール現象が多くみられた。このようなスプロール現象を防ぎ，大都市勤労者に必要な住宅を確保するために，大規模なニュータウンが建設された。

設問Ａ

都心地区からの放射状鉄道が整備されて郊外との交通条件が改善されると，都市の夜間人口密度の分布は次の図の**ア**と**イ**のどちらの方向へ変化すると考えられるか。適切と思われる変化を選び，**ア**または**イ**の記号を記せ。また，その理由を60字以内で述べよ。



設問Ｂ

　スプロール現象は，都市の発展にとって望ましくないものとされている。その理由を，次の語句をすべて用いて90字以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

道路　　公共投資　　利便性

設問Ｃ

　ニュータウンに関する以下の問いに答えよ。

(１)イギリスやフランスにおけるニュータウンは，居住の場，就業の場，娯楽の場などのバランスを重視し自立的な都市として計画される。これに対して，日本のニュータウンはベッドタウン的な性格を持ち，主として居住の場としての位置づけがなされてきたものが多い。このような日本型のニュータウンの問題点を60字以内で述べよ。

(２)20年以上前に入居が開始された大規模ニュータウンでは，全体の人口は減少していないにもかかわらず，地区によっては，小学校の統廃合がなされているところがある。このような現象が起こる理由を60字以内で述べよ。

［１－３］ 京大　2012年度・第３問

20世紀後半以降，低緯度地域に数多くの大都市が誕生している。次の表は，南北回帰線にはさまれた地域に分布する大都市の中から，大都市圏人口の多い10都市を選び，示したものである。この表を見て，下の問（１）～（５）に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については，句読点も字数に含めよ。

都市	経度	当該都市の大都市圏人口（万人）	全国人口に当該都市の大都市圏人口が占める比率（%）	当該都市が属する国の都市人口比（%）
		2010年	2010年	2009年
A	E 121°	2,020	21.5	66
コワンチョウ	E 113°	2,510	1.8	44
ジャカルタ	E107°	1,880	7.9	53
B	E 100°	945	14.1	34
ムンバイ	E 73°	2,350	1.9	33
C	E 15°	925	13.6	62
ラゴス	E 4°	1,220	7.0	49
D	W 43°	1,260	6.5	86
リマ	W 77°	920	31.2	72
E	W 99°	2,290	20.7	78

資料：大都市圏人口に関しては，
http://www.citypopulation.de/world/Agglomerations.html
各国の都市人口比に関しては，http://data.worldbank.org/indicator

問

（１）表中の都市Ａ～Ｅの中に，首都ではない都市が１つある。その都市の記号を，解答欄①に，その都市が属する国の首都名を，解答欄②に答えよ。

（２）都市Ｂやリマの大都市圏人口が，それぞれが属する国の都市人口に対して占める比率は40％強に達している。このように人口が集中し，他都市との人口規模の差が非常に大きくなっている都市を何というか，答えよ。

（３）都市Ｂの名前を，解答欄①に答えよ。この都市Ｂの郊外地区で進められている住宅開発以外の都市整備や開発について，解答欄②に60字以内で記せ。

(４)都市Ｅは低緯度地域にありながら，熱帯気候区には属していない。この都市の名前を，解答欄①に答えよ。この都市が，その立地条件に関係して直面している環境問題について，解答欄②に40字以内で記せ。

(５)ラゴス大都市圏の人口増加に関して，その国の南部地域にある資源の関連産業が人口吸引のおもな要因とされている。その資源の名前を，解答欄①に答えよ。また，北部地域からの人口流出の要因と考えられる自然環境の変化について，解答欄②に40字以内で記せ。

第１講　確認テスト

［１］　東大　2013年度・第３問

経済・産業の変化と人口に関する以下の設問Ａ～Ｂに答えなさい。解答は，解答用紙の(ハ)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問Ａ

図３－１は，2000年代前半における各国の都市および農村の年齢階層別の人口構成比率を図示したものである。

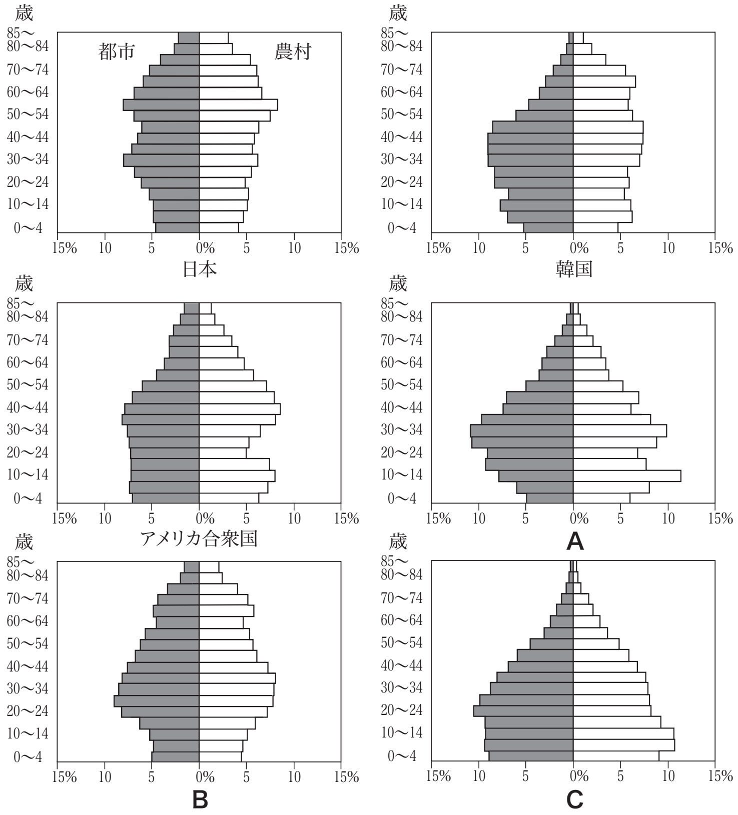


図3−1

国際連合 Demographic Yearbook による。

（１）図中のＡ～Ｃは，インドネシア，スペイン，中国のいずれかである。Ａ～Ｃの国名を，それぞれＡ－○のように答えなさい。

（２）アメリカ合衆国の都市では，30～44歳の年齢階層と，その子の世代である0～14歳の年齢階層の間にほとんど差がみられない。このような現象が現れる社会的な理由を，60字以内で述べなさい。

（３）韓国の都市では，日本の都市と比べて高齢化が進んでいない。その理由を下記の語句をすべて用い，60字以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

人口移動　高度経済成長

設問Ｂ（省略）

第２講
経済活動に関する論述問題

［２－１］

統計を利用した貿易に関する問題です。内容は決して難しくありませんので，確実な文章作成を心がけましょう。

まず（１）ですが，これはとくに重要な問題でもないので，答えを言ってしまいますね。「国際分業」が正解です。さらに（２）ですが，これも難しくないでしょう。**ア**は金額の大きさが，**イ**は鉄鉱石や石炭，**ウ**はやし油，**エ**は茶が，それぞれポイントになります。こちらも答えを明かしてしまいましょう。**ア**がアメリカ合衆国，**イ**がオーストラリア，**ウ**がフィリピン，**エ**がスリランカです。また**Ｘ**と**Ｙ**については，**Ｘ**が日本の主要輸出品目（17.7という高率！）であることが重要で，**Ｙ**が多くの国で主要輸入品となっていることがポイントです。**Ｘ**が「自動車」，**Ｙ**が「原油」です。**Ｙ**がちょっと難しかったかもしれませんね。

（３）では貿易依存度について問われています。貿易依存度は，貿易額をGDPで割った値です。GDPはGNIと同じようなものと考えて構わない統計指標で，当該国の経済規模を表します。「経済規模」という言葉を用いて説明するとスムーズでしょう。

（４）は垂直貿易の意味について問われています。垂直すなわち縦方向の貿易なのですが，この場合の縦とは「先進国」と「発展途上国」の関係を表します。近年は中国や東南アジアなど発展途上地域であっても工業製品の輸出が増えてきましたし，欧米の先進国のほとんどは農産物を輸出していますが，ここではより古典的な意味での垂直貿易について論じてみましょう。最もシンプルに記述するならば「発展途上国が一次産品を，先進国が工業製品をそれぞれ輸出しあう貿易形態」なのですが，これでは字数が足りませんね。一次産品に具体的な例として「資源や農産物（あるいは商品作物）」，工業製品にそれを形容する言葉として「高付加価値」などのキーワードを付け加えることを検討してください。

さらに（**５**）ではFTAについての説明が求められています。FTAはそのまま「自由貿易協定」であり，それ以上の説明は本来いらないのですが，本問では50字というそれなりの長さの文章で論じなければいけないのがかえって難しいのです。例えば「複数の国・地域の間で締結される貿易協定である」のような書き出しとして，２つめの文以降で具体的な自由貿易の意味に言及してみてはどうでしょうか。「関税や貿易障壁の撤廃」などが例です。あるいは，その目的や結果について触れてみてもいいかもしれません。「経済交流が活発化する」，「巨大な自由貿易経済圏が形成される」などのように。ごく当たり前の内容で特殊な知識を必要としない「無難」な記述も重要ですよ。

最後に（**６**）です。先に**カ**と**キ**から特定してしまいましょうか。**カ**は急激な伸びを示す港湾です。同様の伸びを示している港湾にシェンチェンやコワンチョウがありますから，特定は難しくないでしょう。人口はペキンを上回り，港湾の規模も大きいと予想されるシャンハイが該当します（首都のペキンは内陸の都市で港湾を有さないことに注意してください）。**キ**は逆に地位が低下しています。同様の傾向を示す港湾にロサンゼルスやハンブルクがあります。先進国の港湾と考え，ヨーロッパ最大の貿易額を誇る（しかし世界全体で見れば，上記のアジアの主要港には劣る）ロッテルダムのユーロポートが該当するとみていいでしょう。

では論述に移りましょう。字数制限がありませんが，簡単に述べることが求められているはずです。国を考える場合にとくに重要となる指標は「１人当たりGNI」です。これがおおよそ３万ドルを超えると先進国，数千ドル程度ならば発展途上国となり，その中間がNIEs（新興工業経済地域）です。NIEsは，EUやNAFTA（現USMCA）のような国際的に取り決められたものではなく，あくまで経済レベルに基づいて世界各国を区分した場合の一つのグループと考えてみましょう。いわゆる中進国であり，1980年代以降に急成長を果たした新興工業国の括りです。経済レベル順に並べれば，「先進国＞NIEs＞発展途上国」となります。

とくにアジアNIEsという言い方を聞いたことがあるかもしれません。東アジア・東南アジアにおける新興工業国のグループとして，韓国・台湾・ホンコン・シンガポールの４つの国・地域の総称です。もっとも，ホンコンやシンガポールは先進国並みの１人当たりGNIの高さを誇っていますので，経済レベルだけが基準とはなっていないことは明確なのですが，それでも日本など先進国と中国など発展途上国との間に位置する存在と考えることは妥当です。

本問についても，欧米と日本の「先進国」，韓国など「アジアNIEs」，台湾とホ

ンコンを除く中国が該当する「発展途上国」との違いについて明確に論じれば解答は難しくないでしょう。

なお，順位が下がっているロサンゼルスやハンブルクについても数量自体は増加しているので，「取扱量が減った」という表現は避けるよう慎重になってください。あくまで「順位が下がった」，「地位が低下した」という書き方をしないと不正確となります。

［２－２］

本問は設問Ａは省略してありますので，設問Ｂだけになります。日本の工業に関する問題ですが，とくに1990年代以降が大きなテーマの一つとなっており，生産拠点の海外移転について述べることが求められています。「円高」，「現地生産」，「安価な労働力を求めての工場の移動」，「産業の空洞化」など定番キーワードがとくに多く登場するジャンルですから，書き方をしっかりマスターしましょう。

まず（１）について考えてみましょう。日本の自動車生産に関する問題は頻出です。問われる内容は決まっていますので，この機会に慣れておくことが大切です。以下の３つのフェイズ（時期）を理解してください。

最初のフェイズは，オイルショックから高度経済成長の終焉の時期です。1970年代がこれに該当します。1950年代後半から活性化した日本の経済成長は，オイルショックを引き金として終わりを迎えます。これにより，鉄鋼業や石油化学工業などの重厚長大産業は停滞期に入り，また安価な原油による発電に依存していたアルミニウム工業は途端に国際競争力を失い衰退します。その一方で，自動車工業においては全く別の局面を迎えます。ガソリンの価格が高騰したせいで（おかげで？），燃費の良い日本車に注目が集まり，本来の性能の良さもあいまって，世界中で日本車人気が高まります。オイルショックという逆境があったからこそ，この時期の生産台数は拡大の一途をたどり，いよいよ1980年代にはアメリカ合衆国をしのぎ，世界最大の自動車生産国へと躍り出るのです。問題文における「1985年まで伸びていた」ことについては，以上の内容をまとめたらいいでしょう。字数制限があるので，簡単な記述に限定されますが，少なくとも「オイルショック」という用語は重要です。

さらに２つ目のフェイズは1980年代です。日本車ブームによって，とくにア

メリカ合衆国向けの自動車輸出が加速し，大幅な日本の輸出超過（つまり貿易黒字），アメリカ合衆国の輸入超過（貿易赤字）となります。この貿易不均衡を「貿易摩擦」と言いますが，アメリカ合衆国がこのような状態を看過するわけもなく，日本の自動車メーカーに対して輸出台数の制限など圧力をかけて来ます。日本企業全体に対する攻撃的な世論が高まったのもこの時期です（ジャパン・バッシング）。輸出の増加について，「アメリカ合衆国」との間に「貿易摩擦」が生じたことを述べましょう。

そして３つ目のフェイズが1980年代後半から1990年代にかけての時期です。当時「円高」により日本製品の国際競争力が低下した（＊）こともあり，海外に工場がさかんに進出するようになりました。自動車工業も例外ではないのですが，自動車については他の工業種（衣類や電化製品）とはややベクトルが違い，欧米の先進国に日系工場が設けられるパターンが多かったのです。もちろん理由は「貿易摩擦の解消」です。日本の自動車メーカーの多くが，アメリカ国内に生産の拠点を移動し，「現地生産」を始めました。これにより，日本からの輸出は減少し（グラフにそのことははっきりと表されていますね），貿易不均衡は緩和されたのです。もちろんこれにより日本の自動車生産は停滞することになるのですが，そのことは本問では話題にする必要はなさそうです。あくまで，貿易に特化した内容を説明しましょう。

現地生産とは，工場が進出した先の国で販売することを目的として生産活動を行うことです。安価な労働力を利用するために発展途上国へと工場が進出するパターンとは異なることを理解してください。アメリカ国内のマーケットでの販売なのですから，「市場」という言葉は使えるかもしれません。また少し欲張れば，同じような現地生産はヨーロッパでも見られたので，「EU」も候補にはなります。ただ，EUがECから改組されたのは1990年代半ばなので，この語を使用するならば時期との整合性には注意してください。個人的には無理に使うキーワードでもないかな，とは思っています。

（＊）円高については，受験地理のレベルでは詳しい説明は不要です。単に「円高により産業の空洞化が生じた」のように大雑把な表現で構いません。具体的には円高については「１人当たりGNIの上昇」と考えてください。賃金水準が上がり，国内での製造コストが上がるため，工場が海外に展開するようになります。また所得水準が上がったことで，海外旅行も増えるわけですが，要するに海外でお金を使うわけで，これって「輸入」みたいなものでしょ？円高によって「輸入がしやすくなる」と覚えておけば，輸出については困難になることも連想しやすいでしょ

う。「円の価値が上がる」ということは，円によっていろいろな外国のものが買いやすくなる反面，外国からみると日本のものは「高嶺の花」となるわけです。前述のように，受験地理では円高についての説明はあまり求められませんが，簡単に以上のようなことを知っておくと便利だと思います。

（２）についても考えてみましょう。内容的には（１）とかなり重なると思います。ただ，（１）の方が制限字数を埋めるのには苦労しないのに対し（３つのフェイズについて順に説明すればいい），こちらはちょっと頭を使わないといけないかも知れません。

まず，基本となるのは，日本の工場が外国へと進出した経緯から。（１）では「先進国での現地生産」がポイントになりましたが，こちらは「発展途上国への工場進出」がカギとなっているのです。自動車に比べて，テレビなど電化製品は価格が安いので，とくに安価な労働力が得られやすい地域へと生産の拠点が展開する傾向が強くなるのです。（１）と同様に「円高」はおいしいキーワードなので使うとして，それから「労働力」という言葉を用いて，外国に工場が移転した理由を説明してください。

また1990年代のこの時期に工場が盛んに進出した国としてマレーシアやタイがあるので，ここで「ASEAN」は使えるはずです。あるいは字数を稼ぎたいのならば，「輸出指向型工業」という言葉を登場させてもいいですし，「輸出加工区」や「経済特区」（こちらは中国限定ですが）などという言葉も使ってしまっていいでしょう。

ちなみに，語群に「海外生産」という言葉があり，これがちょっと厄介だなと思っているのです。海外生産は文字通り，海外で生産活動を行うことなのですが，先進国における現地生産も，発展途上国における輸出を前提とした生産も，同様に「海外生産」となるのです。もちろん与えられた語句はできるだけたくさん使った方がいいのですが，もし私が受験生としてこの問題を解くならば，（１）の内容についてはあえて海外生産という言葉は使わないと思います（模範解答もそうなっています）。語群にはありませんが「現地生産」という言葉を優先して用いたいのです。その分，（２）の解答は必ず「海外生産」という言葉は入れることになります。この辺りの判断はみなさん個人個人にお任せしますが，語句の定義だけは間違えないようにしてください。とくに発展途上国における生産活動について「現地生産」という言葉はご法度ですよ。デリケートな部分です。

［２－３］

食料に関する問題ですが，農業や貿易も含めた総合的な問題となっています。

設問Ａからみていきましょう。

（１）の判定は容易でしょう。フランスについては西ヨーロッパ最大の農業国であることが分かれば判定できます。イギリスとスペインは気候環境がポイントになります。

そのイギリスとスペインの判定についての理由が（２）で問われています。字数制限は90字とやや長くなっていますが，一つの国について40字程度と考えるとむしろ短いぐらいです。要点を絞って書かないといけません。

まずイギリスについて。イギリスといえば農業就業人口割合が低い国（１％台）として知られていますが，これは大規模経営によって農業が営まれ，省力化が進んでいるということでもあります。経営規模が大きく，小麦栽培が盛んであることがイギリスの一つの特徴です。西ヨーロッパにおける小麦輸出国を確認しておいてください。フランスを除くと，イギリス，ドイツ，デンマークなど北部に位置する国での輸出が多いことに気づくはずです（＊）。また冷涼な国であるので，それに即した作物の栽培がみられます。とくにイギリスは大陸氷河の影響で，南部のロンドン周辺を除くと肥沃な土壌に恵まれません。そうした厳しい自然環境下で栽培される作物であるジャガイモに注目してみましょう。

一方，スペインについては温暖で比較的乾燥した国です。冷涼な気候環境を好む小麦については栽培に適しているとはいえません。逆に温暖な気候環境の下，野菜栽培は盛んに行われています。字数に余裕があれば，スペインを代表する畜産物であるイベリコ豚を例示して，肉類の値の大きさに触れてみてもいいかもしれません。

（＊）現在（2018年），イギリスの小麦輸出量は減少し，輸入量の方が多くなっています。穀物自給率も80％台に低下しました。

続く（３）は非常に重要な問題です。みなさん，ホイットルセー農牧業区分はきちんと理解していますか。それぞれの農牧業区分について教科書などを用いて，整理しておいてください。数十字でまとめて，丸覚えしてしまうことをお勧めします。

オランダはホイットルセー農牧業区分においては，園芸農業の代表的な国ですので，これについて記述するのが基本です。園芸農業においては穀物栽培は重視されず（オランダは先進国としては例外的に穀物自給率が極端に低い国です），野菜や果実，肉類や乳製品など収益性の高い農畜産物が生産される，極めて集約的かつ商業的な農業形態です。とくに沿岸の砂丘部で野菜が盛んに栽培されることは知られています。

ただし，本問については「高度」との関係を述べることが求められています。オランダは言わずと知れたポルダー（干拓地）の国です。浅海に堤防を建設し内側を排水し，干拓地を造成してきました。低湿な土地は穀物栽培には適さず，主に牧草地として利用され，酪農が行われています。

園芸農業を基本としつつも，低地において酪農が行われている様子を説明すれば完璧でしょう（とくに園芸農業は沿岸の砂丘部で盛んです）。ホイットルセー農牧業区分は使い勝手がいいので，「覚え得」ですよ！

（４）については，（Ｂ）／（Ａ）の値の低い都道府県に，東北地方や日本海側の県が並んでいることがポイントになります。これらの地域で盛んに栽培されているものは何でしょう？もちろん「米」ですね。本問は米の特性について説明することが肝要となります。

米はカロリー（熱量）が高い作物です。栄養価も高く，この作物の栽培に適していることが東アジアから東南アジア，南アジアに至る湿潤アジア（モンスーンアジア）における人口密度の高さにつながっています。栽培のためには夏の高温と十分な降水量（あるいは灌漑用水）が必要であるという限定された条件はあるものの，これを満たす地域ならば米の栽培により多くの人口を養うことができます。人口支持力が高い作物なのです。

一方，価格の点においては米は単位面積当たりの収入は小さくなります。果物や畜産物，野菜と比べてこれは明確でしょう。田植え機や稲刈り機など農業機械が導入され，省力化が進むことも米の特徴です。多くの手間を必要とする野菜などとは大きく異なっています。このことを意識して文章を作成してみましょう。ただし，おそらくみなさんが感じる困難は字数だと思います。「米はカロリーが高く，価格が安いから」だけで解答は終わってしまうのです。ここは問題文の要求に応え「これらの道県に共通する」要素についてしっかり論述してください。

（５）は（４）とは対照的な設問となっています。（Ｂ）／（Ａ）の値が高いというこ

とは，これらの都府県における主な生産物は，「カロリーが低いこと」と「価格が高いこと」が特徴となるわけです。米と対照的な農作物ということでピンと来るのではないでしょうか。もちろん「野菜」ですね。なるほど，野菜は近郊農業で主に生産されるものですから，(**ア**) 大都市圏での生産が盛んなことはわかります。さらに(**イ**)それ以外の県の顔ぶれを見ても，さらに納得させられるのではないでしょうか。ビニルハウスを用いた促成栽培，そしてトラックによる大都市圏への輸送がポイントとなります。こうした農業に関する知識は，高校というより小中学校レベルのものでしょう。決して難しい内容ではありませんので，自分なりに工夫して書き上げてみましょう。

設問**C**はグラフの読解を組み合わせた問題になります。大豆の生産が増加し，輸入量も急増しているのですから，中国の国内における供給量(消費量と同義です)はさらに激しい増加をしているわけです。大豆の主な用途を考えれば，論述は難しくないでしょう。

とくに本問の場合は使用すべき語が決められています。なかなかおもしろいと思うのですが，こうした語句(以下，キーワードとする)が設定されている問題には２つのパターンがあり，一つはキーワードの使用が足かせになる場合です。もっとスムーズに文章を書きたいのに，キーワードを強制されることで，いちいちそれに触れないといけなくなり，本来の主張が説明しにくくなってしまうのです。こういった経験はみなさんにもあるでしょう。

もう一つのパターンはそれとは反対に，キーワードが道標になる場合です。一体何を書いたらいいか迷うような問題の場合，とりあえずキーワードに素直に従ってみて，文章をつなげていけば，意外ときちんとした解答になったりするものです。作問者によって正解を誘導されているとも言えるのですが，相手の要求する解答に自分の主張を寄せていくというアプローチは入試問題においては悪いことではありません。

そして，本問については後者の典型的な例だと思うのです。キーワードがなければ，「飼料としての供給が拡大した」でおしまいなわけですが，ここに「所得水準」と「肉類」を関連させて文章を作るのです。「所得水準」の向上によって食生活は変化し，日常的に肉類を多く食べるようになります。牛や豚などの家畜の飼料として大豆は重要な作物です。キーワードに沿って素直に文章を組み立ててみましょう。おそらくそれこそが，問題を作った側が求める正解なのです。

第２講　練習問題

［２－１］ 京大　2015年度・第２問

　貿易に関する下の文章を読み，以下の問(１)～(６)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については，句読点も字数に含めよ。

　現代世界は，ヒト，モノ，カネ，情報の流れによって緊密に結びついている。このうち，モノの流れである貿易をみると，(ａ)自国で多く生産される品目が輸出され，代わりに生産が難しい品目が輸入されることによって，諸国間で相互補完する体制が成立している。そのため，(ｂ)各国の貿易は多様であるが，(ｃ)輸出と輸入の主要品目からみると，一定の傾向がある。なお，近年では，世界貿易機関(WTO)による多国間交渉が停滞する傾向にある中，(ｄ)これを補完する国際ルールが注目されている。(ｅ)貿易を担う物流は，トラック，鉄道，船舶，航空機などの輸送機関を利用して行われる。

問

(１)下線部ａのような体制を何と呼ぶか。

(２)下線部ｂに関連し，次の**表１**は，アメリカ合衆国，オーストラリア，スリランカ，日本，フィリピンの５か国の輸出入額，貿易依存度，主な品目を示したものである。表中の**ア**，**イ**，**ウ**，**エ**に該当する国名を答えよ。また，**Ｘ**，**Ｙ**に該当する品目を，以下の品目群①～⑥の中から選び，番号を答えよ。

品目群

①　紙類　　②　原油　　③　小麦　　④　米　　⑤　自動車　　⑥　船舶

(３)次の**表１**に示された輸出と輸入の貿易依存度は，それぞれ，輸出額と輸入額の国内総生産(GDP)に対する比率である。国の経済規模と貿易の比重との間には，一般的にどのような対応関係があるか，答えよ。

表１

国		額（10億ドル）	貿易依存度（％）	主な輸出入品の輸出入総額に占める割合（％）							
ア	輸出	1,480	9.9	機械類	25.2	X	7.8	石油製品	6.8	精密機械	4.2
	輸入	2,263	15.1	機械類	25.8	Y	15.2	X	8.9	石油製品	4.3
日本	輸出	823	14.0	機械類	36.9	X	17.7	鉄　鋼	5.7	精密機械	5.2
	輸入	855	14.5	機械類	18.3	Y	16.6	液化天然ガス	7.0	衣　類	3.9
イ	輸出	246	17.9	鉄鉱石	24.9	石 炭	17.9	金（非貨幣用）	5.6	Y	4.4
	輸入	234	16.1	機械類	24.8	X	10.9	Y	9.2	石油製品	6.6
ウ	輸出	48	21.5	機械類	35.4	X	4.6	建築用木工品	3.5	やし油	3.0
	輸入	64	28.5	機械類	22.8	Y	12.4	石油製品	5.8	X	4.5
エ	輸出	10	17.3	衣　類	42.1	茶	14.7	ゴム製品	7.0	ダイヤモンド	3.8
	輸入	20	33.7	機械類	12.8	石油製品	11.9	繊維品	11.3	X	9.6

データは2011年。
資料：『世界国勢図会2013/14年版』

（**４**）下線部**c**に関連し，一定の傾向の１つに，垂直貿易がある。**表１**を参照しつつ，垂直貿易について，50字以内で説明せよ。

（**５**）下線部**d**に関連し，自由貿易協定（FTA）とはいかなるものか，50字以内で説明せよ。

（**６**）下線部**e**に関連し，下の**表２**は，コンテナ取扱量の上位10港を示している。1990年から2010年にかけて，どのような地域的変化があったかを述べよ（解答欄①）。また，**カ**と**キ**に該当する港名を答えよ。

表２

順位	1990年		2000年		2010年	
1	シンガポール	5,224	ホンコン（香港）	18,100	**カ**	29,069
2	ホンコン（香港）	5,101	シンガポール	17,040	シンガポール	28,431
3	**キ**	3,667	プサン（釜山）	7,540	ホンコン（香港）	23,532
4	カオシュン（高雄）	3,495	カオシュン（高雄）	7,426	シェンチェン（深圳）	22,510
5	神　戸	2,596	**キ**	6,280	プサン（釜山）	14,157
6	ロサンゼルス	2,587	**カ**	5,613	ニンポー（寧波）/チョウシャン（舟山）	13,144
7	プサン（釜山）	2,348	ロサンゼルス	4,879	コワンチョウ（広州）	12,550
8	ハンブルク	1,969	ロングビーチ	4,601	チンタオ（青島）	12,012
9	ニューヨーク/ニュージャージー	1,872	ハンブルク	4,248	ドバイ	11,600
10	キールン（基隆）	1,828	アントワープ	4,082	**キ**	11,146

単位は千TEU。TEUは，20フィートコンテナに換算した量。
資料：『世界国勢図会2013/14年版』ほか。

［２－２］　東大　2003年度・第３問

日本の工業に関する以下の設問Ａ～Ｂに答えよ。解答は，解答用紙の（ハ）欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問記号をつけて記入せよ。

設問Ａ（省略）

設問Ｂ

図１～２は，自動車とカラーテレビの国内生産と輸出入の推移を示したものである。

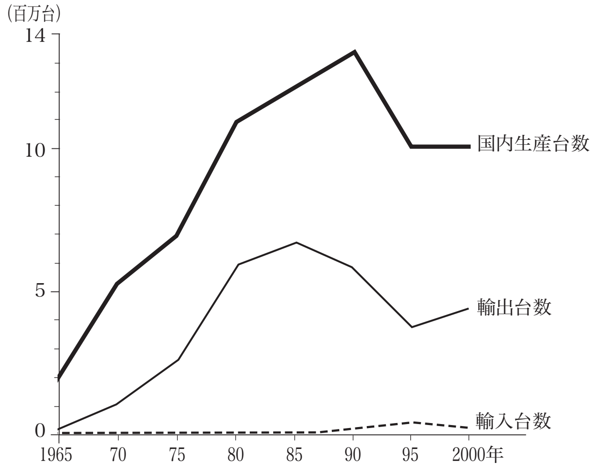


図１　　日本自動車工業会資料による。

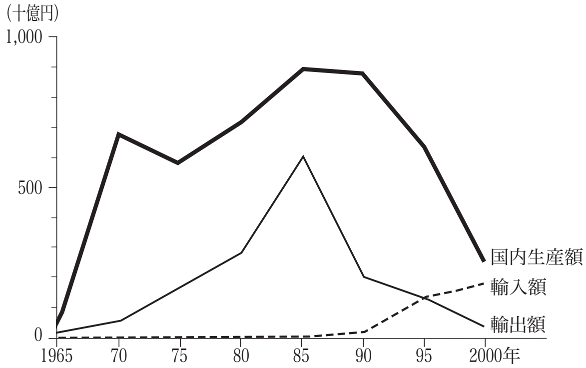


図２　　日本電子機械工業会資料による。

（**１**）**図１**は，自動車の国内生産台数と輸出入台数の推移をみたものである。このうち輸出台数は，1985年まで伸びていたが，それ以降は減少もしくは微増に留まっている。その理由を，下の語群より適当な語句を選択して，90字以内で述べよ。語句はいくつ選択してもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

（**２**）**図２**は，カラーテレビの国内生産額，輸出入額の推移をみたものである。1990年以降，国内生産額が大幅に減少し，輸入額が増大している。その理由を，下の語群より適当な語句を選択して，90字以内で述べよ。語句はいくつ選択してもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

語群

円高　　オイルショック　　貿易摩擦　　海外生産　　市場　　労働力

アメリカ合衆国　　EU　　ASEAN　　OPEC

［２－３］ 東大　2009年度・第２問(改変)

世界と日本の食料に関する以下の設問Ａ～Ｃに答えなさい。解答は，解答用紙の(ロ)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問Ａ

次の表１～３は，ヨーロッパ各国と日本の食料自給率に関するものである。食料自給率には，①品目別の消費量(重量)に対する生産量(重量)の割合を示す品目別自給率，②品目別の消費量と生産量を熱量(カロリー)換算して全品目を合算する熱量ベース自給率，③金額換算して全品目を合算する生産額ベース自給率とがある。

表１

国	熱量ベース自給率(%)	品目別自給率(%)			
		穀　類	いも類	野菜類	肉　類
(ア)	122	173	104	87	106
(イ)	70	99	71	42	66
オランダ	58	24	120	282	210
(ウ)	89	68	44	159	111
日本	40	27	83	82	54

『食糧需給表』による。

表２

順位	都道府県	熱量ベース自給率(Ａ)(%)	生産額ベース自給率(Ｂ)(%)	(Ｂ)/(Ａ)
38	福　島	82	113	1.4
39	宮　城	79	100	1.3
39	石　川	47	61	1.3
41	山　形	128	150	1.2
41	新　潟	94	117	1.2
43	富　山	72	71	1.0
43	福　井	63	61	1.0
45	北海道	201	188	0.9
45	秋　田	164	140	0.9
47	滋　賀	52	42	0.8

農林水産省試算による。

表３

順位	都道府県	熱量ベース自給率（A）（%）	生産額ベース自給率（B）（%）	（B）/（A）
1	東　京	1	5	5.0
2	神奈川	3	14	4.7
3	山　梨	20	92	4.6
4	宮　崎	62	256	4.1
5	和歌山	30	109	3.6
6	長　崎	42	137	3.3
7	静　岡	18	55	3.1
7	愛　媛	40	123	3.1
7	高　知	47	144	3.1
10	大　阪	2	6	3.0

農林水産省試算による。

（１）**表１**は，2003年における各国の熱量ベース自給率，および，主要品目の品目別自給率を示している。表中の（**ア**）〜（**ウ**）は，イギリス，スペイン，フランスのいずれかである。（**ア**）〜（**ウ**）の国名を，それぞれ**ア－○**のように答えなさい。

（２）（**イ**）と（**ウ**）の国名について，そのように判断した理由を，農業生産の面から，あわせて90字以内で述べなさい。

（３）**表１**に表れているようなオランダ農業の特徴を，オランダの高度の特性と関連させて60字以内で述べなさい。

（４）食料自給率は，国別だけでなく国内地域別にも計算することができる。**表２**と**表３**は，2005年の都道府県別の（A）熱量ベース自給率と（B）生産額ベース自給率を示している。**表２**には，（B）を（A）で割った比率の下位10道県が並べられている。これらの道県でこの比率が下位にある理由を，これらの道県に共通する農業の特徴から60字以内で述べなさい。

（５）**表３**には同じ比率の上位10都府県が並べられている。これらの中には，（**ア**）大都市圏およびその近郊に含まれる都府県と（**イ**）それ以外の県がある。（**イ**）で，この比率が上位にある理由を，これらの県に共通する農業の特徴から60字以内で述べなさい。

設問Ｂ（省略）

設問Ｃ

下の**図２**は，1961年から2005年までの，中国における大豆の生産量および輸入量の推移を示したものである。1990年代半ば以降，大豆の生産量は徐々に増加しているのに対し，大豆の輸入量は急激に増加している。その理由を，下記の語句を全て用い，60字以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

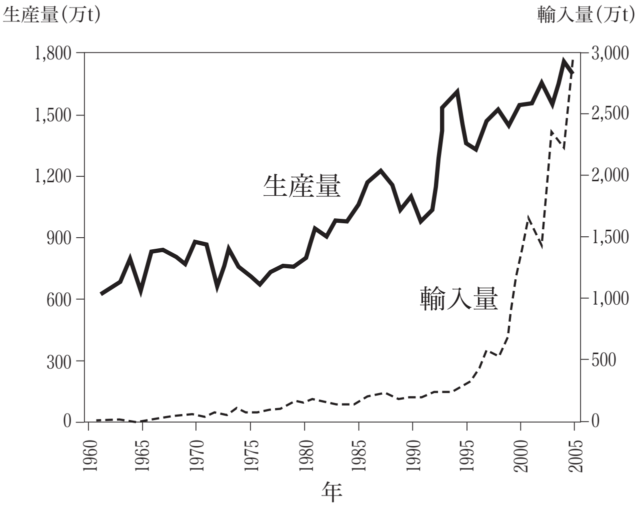


図2

FAO資料による。

所得水準　　肉類

〈***Note***〉

第２講　確認テスト

［１］　東大　2015年度・第２問

世界の貿易に関する以下の設問Ａ～Ｂに答えなさい。解答は，解答用紙の(ロ)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問Ａ

表２－１は，アフリカの３つの国を取り上げ，主要貿易相手国(輸出額・輸入額の上位５カ国)を示したものである。

Ａ国

相手国	輸出額	割合(%)
全　体	21,417	100.0
フランス	4,619	21.6
スペイン	3,541	16.5
ブラジル	1,266	5.9
インド	1,161	5.4
アメリカ合衆国	930	4.3

相手国	輸入額	割合(%)
全　体	44,790	100.0
スペイン	5,901	13.2
フランス	5,548	12.4
中　国	2,968	6.6
アメリカ合衆国	2,859	6.4
サウジアラビア	2,832	6.3

Ｂ国

相手国	輸出額	割合(%)
全　体	86,712	100.0
中　国	10,139	11.7
アメリカ合衆国	7,586	8.7
日本	5,414	6.2
ドイツ	4,175	4.8
インド	3,675	4.2

相手国	輸入額	割合(%)
全　体	101,611	100.0
中　国	14,638	14.4
ドイツ	10,237	10.1
サウジアラビア	7,877	7.8
アメリカ合衆国	7,497	7.4
日　本	4,623	4.5

Ｃ国

相手国	輸出額	割合(%)
全　体	143,151	100.0
アメリカ合衆国	24,139	16.9
インド	15,895	11.1
ブラジル	10,791	7.5
オランダ	9,958	7.0
イギリス	9,042	6.3

相手国	輸入額	割合(%)
全　体	35,873	100.0
中　国	7,715	21.5
アメリカ合衆国	4,887	13.6
インド	2,888	8.1
ブラジル	2,868	8.0
イギリス	2,361	6.6

2012年。輸出額・輸入額の単位は100万米ドル。
フランスには，モナコ・海外県を含む。
アメリカ合衆国には，プエルトリコ，米領バージン諸島を含む。
国際連合Comtrade Databaseによる。

表２-１

（１）Ａ～Ｃの各国は，南アフリカ，ナイジェリア，モロッコのいずれかである。Ａ～Ｃの国名を，Ａ－○のように答えなさい。

（２）Ａ国とＢ国の主要輸出相手国の構成を比較し，その特徴とそうした特徴がみられる背景を，あわせて60字以内で述べなさい。

（３）Ｃ国では，全体の輸出額が輸入額を大きく上回っている。こうした貿易構造に反映されている，この国の経済・社会発展上の課題を60字以内で述べなさい。

（４）Ａ～Ｃの各国とも，輸入相手国の上位に中国が位置している。2000年代に入って，とくにアフリカ諸国では，中国からの輸入が急増している。こうした事態が生じている背景を60字以内で述べなさい。

設問Ｂ（省略）

第３講
自然環境に関する論述問題（１）

［３－１］

（１）ではダムの目的について気候と関連させて述べることが求められています。問題文には「気候帯」という言葉も含まれていますが，解答では気候帯に触れる必要はないようですね。

テーマとなっているのはザンベジ川のカリバダムとエニセイ川のクラスノヤルスクダムです。ザンベジ川，エニセイ川，ともに知っておくべき河川名だと思いますよ。共通テストではこうした地名の知識が合否を分けることはほとんどありませんが，国公立二次や私大においてはある程度の知識は必要になります。論述対策と並行して，地名や都市名に関する知識も固めておきましょう。

ザンベジ川はアフリカ南部の河川で，世界三大瀑布の一つであるビクトリア滝を有することでも知られています。「ザンベジ」という名称と関連づけてザンビアを流域に含むことを確認しておきましょう。ザンビアはコンゴ民主共和国の南に接する国で銅鉱の産出量が多い国です。コンゴ民主共和国からザンビアにかけて銅山が多く分布する地域はカッパーベルトとも呼ばれています。

エニセイ川はシベリア中央部を北流する大河川の一つで，西部のオビ川，東部のレナ川とともによく知られています。シベリア南部に水源を発し，バイカル湖を水源とするアンガラ川と合流し，中央シベリア高原の西側に沿って流れた後，北極海へと注ぎます。

ではザンベジ川のカリバダムから考えていきましょう。上述のようにザンビアを流域に含む河川ですが，この一帯の気候区分は主にCwであり，一部にAwやBSもみられます。「雨季と乾季が明瞭」であることが最大の特徴になりそうですね。なお，カリバダムは多目的ダムで発電も行われており，得られた電力は銅の精錬にも用いられています。ただし，これは気候と関係するものではないため，今回は省いた方が良さそうです。

さらにエニセイ川のクラスノヤルスクダムです。シベリアは細かく気候区分で考えればDwが主ですし，あるいは北極海沿岸には寒帯のツンドラ気候もみられますが，本問については単に冷帯と定義付けすればいいでしょう。冷帯のポイントは寒暖差です。夏季は十分に気温が上がるものの，冬季は極めて寒冷になり湖

沼や河川が凍結します。こうした地域におけるダムの意義について考えてください。

ダムのはたらきは「治水」と「利水」の二つです。前者は「水を治める」ということで，洪水対策になります。後者は「水を利用する」ということで，水力発電そして農業用水や生活用水の確保となります。２つのダムはそれぞれ「利水」が目的なのか「治水」が目的なのか，それとも両方なのか。字数制限が短いですので，シンプルに要点だけを伝えてください。ダム名に字数が取られるならば，「前者」，「後者」という書き方でもいいと思いますよ。

（２）は一転し日本地理に関する問題ですね。中部地方と四国地方のダムには侵食速度の大きなものが多く，中国地方には侵食速度の小さなダムしかありません。この違いが生じた理由を述べるものです。

そもそも「侵食」はなぜ生じるのでしょう。侵食速度の単位は「mm／年」となっています。細かい説明がないのでよく分かりませんが，この値が1.0ならば，年間にダムの底に１mmの土砂が堆積するという意味と捉えていいと思います。つまり流れ込む土砂の量ですね。ダムより上流側の侵食作用が活発で，多くの土砂が山地から削り取られ，ダム湖へと運ばれるというわけです。

どういった場合に侵食量が大きくなるか考えてください。一つは「傾斜」です。河川の流れが急である場合，土地を大きく削り取り侵食量は大きくなります。多くの土砂が下流に流れます。もう一つは「降水量」ですね。大量の雨水によって河川が増水すれば，その分だけ多くの土砂を削り取ることになります。この２点において，中部地方・四国地方が中国地方に対して優位にあることを指摘して下さい。

「傾斜」に関してはシンプルな書き方ができると思います。日本アルプスに代表される高峻な山脈が連続する中部地方，中央構造線に沿い険しい山地がみられる四国地方に対し，中国地方の山容はなだらかです。その一方で，やや判断に迷うのが「降水量」でしょうか。単純に中部地方や四国地方で降水量が多く，中国地方で降水量が少ないと記述してしまうのが簡単で好ましいのですが，しかし細かいところまで目を移していくと例外もかなり多くなります。山梨県や長野県などの中央高地は周辺を山地で囲まれているため降水量は比較的少なく，また四国でも瀬戸内地方は日照時間が長いことで知られ，やはり降水量は多くありません。とはいえ，字数制限も短く，細かいことまで触れる余裕はありません。ある程度は「大胆に」言い切ってしまって構わないと思いますよ。出題者側もそこまでは要求

していないはずです。字数制限に合わせて，内容を調整するテクニックを身に付けてください。

（３）は非常に重要です。ダムのデメリットに関する問題はよく問われますので，書き方を覚えてしまいましょう。制限字数は90字とさほど長くないのに指定語句は３つもあります。ある程度，書くべき内容は限られます。

まず「水資源」ですね。ダム湖に土砂が堆積することで貯水量が減少し，利用できる水資源の量も減ります。このことをまず述べてみましょう。さらに「洪水」です。ダムはそもそも治水（洪水を抑える）効果があるわけですが，さて土砂の堆積と洪水の頻度にはどういった関係があるでしょう。そして「海岸」です。ダムにより下流側への土砂の流下量が減少しますね。これによって海岸付近でどのような変化がみられるでしょうか。

いずれもオーソドックスな内容であり，決して難しいものではありません。うまくまとめてみてくださいね。

（４）では「緑のダム」という言葉が登場しています。おもしろい言葉ですね。まずはグラフの読解です。そもそも森林が「緑のダム」と呼ばれていることは確かなのですから，Ａ〜Ｃについては最も治水能力が高い状態の流量変化を選べばいいと思いますよ。

ではその治水効果はなぜ生じるのでしょう。これは簡単だと思います。それは森林地域が雨水を十分に吸い，下流側へと一気に雨水が流れ込むのを防いでいるからですね。まさに「ダム」と言えます。

ただ，本問のポイントは違ったところにあります。それは（１）や（２）とは異なり，こちらは字数制限が「長すぎる」ことです。一言で言える内容について，詳しく説明していかないといけません。これはこれでかなり難しいことですよ。

解答の前半では森林地域が雨水を吸収する様子を記述してください。森林は豊富に葉を落とし，それが枯れて腐ることにより腐葉土となり，豊かな土壌をつくります。この土壌中へと雨水が染み込むわけですね。葉や腐葉土についてまで述べる必要はないと思いますが，例えば「森林地帯では豊かな土壌が育まれ」といった表現は使えるとは思います。また日陰ができることにより，地表面からの蒸発量が減り，雨水が地下に浸透しやすくなります。「地下水の涵養」も森林の効果の一つです。字数を埋める必要があれば，こういった内容を含めてもいいかも知れません。

解答の後半ではそこから水が流れ出す様子について述べましょう。グラフが参考になりますね。「少量ずつ」，「長い時間をかけて」といった表現を使うと適切かも知れません。そしてそのことが結果として洪水を防いでいるのだという結論につなげましょう。

（５）ではさらに「白いダム」がテーマとなっています。問題文を読めば分かるように，これは標高の高い地域にみられる氷河のことです。ダムの「治水」効果と「利水」効果，いずれに注目すればいいでしょうか。

解答としてはシンプルだと思います。ポイントは「融氷・融雪」ですね。春から初夏にかけて気温が上がり，山頂付近の氷河や積雪が融解することで周辺地域に豊富な水が供給されます。これについて記述したらいいわけですね。

ただし，ここでも（４）と同様の問題が生じます。内容のシンプルさに比べて，制限字数が90字と比較的長いため，設問にそのまま答えるだけでは十分な解答となりません。自分なりに「おまけ」を加えながら，文章を長くする工夫をしてみましょう。

使用語句に注目します。まず「季節」ですね。これは上述のように「春から夏にかけて」の季節とすればいいでしょう。文字数制限が短ければ「春」だけですが，ここは「おまけ」として夏を加えるべきです。

さらに「流出」ですが，こちらは問題ないでしょう。「周辺に流出」する様子を記述しましょう。

「渇水」はどうでしょう。例えばヨーロッパアルプスを例に取ってみれば，その南側の地中海沿岸地域は夏に降水量が少なく「渇水」期となります。地中海性気候ですね。ロッキー山脈でも西側の太平洋岸地域には地中海性気候の地域が見られ，同様に夏に渇水となるはずです。

以上のようなことを踏まえ，３つの使用語句から答えるべき内容を想像しながら文章を組み立てていくのです。90字の字数制限は決して短いものではありませんが，それを「埋める」技術も養いましょう。

［３－２］

東京を中心とした正距方位図法を用いた問題となっています。それぞれの大陸，都市の位置がわかりにくくなっていますが，注意深く観察してくださいね。

なお，設問Ａは今回は省略していますが，ａ～ｃに入る数値が問われていました。ａは東京から10000kmの距離を表しています。ｂは赤道であるので，緯度０°です。ｃはオーストラリア大陸の南を通過する緯線で，南緯40°です。

では設問Ｂから取り組んでいきましょう。それぞれの都市名をはっきりさせる必要はありませんが，参考までに①がレイキャビク，②がビクトリア，③がウェリントン，④がパースです。⑤は判別が難しいのですが，②や④と同じ気候（後述しますが，地中海性気候です）ということで，おそらくベイルートでしょう。いずれも首都あるいは州都です。

問題文より，①と③において同じ気候がみられ，②と④と⑤においてもやはり同じ気候がみられるようです。この場合の気候とは，ケッペンによる気候区分と考えていいでしょう。西ヨーロッパの①，ニュージーランドの③では「西岸海洋性気候」がみられます。②・④・⑤については④がわかりやすく，オーストラリア南西部は「地中海性気候」がみられる典型的な地域です。よって，②と⑤についても同様と考えるべきです。④については周辺に乾燥気候もみられますし，②については地中海性気候としては例外的に年間の降水量が多いという特殊な地域とはなっていますが，とくに問題とはならないでしょう。

さらにそれぞれの気候区分の特徴を説明します。西岸海洋性気候については年間を通じ穏やかな気候がみられますが，偏西風の影響がとくに大きくなっています。暖流について説明しても構いませんが（西ヨーロッパの北大西洋海流はよく知られていますね。ニュージーランドも東オーストラリア海流の影響があるのです），字数を考えるとこれには触れる必要はなさそうです。

地中海性気候はとくに出題率が高いので，この機会に書き方を覚えてしまいましょう。単に「夏に乾燥し，冬に降水がみられる」ではいけません。使用が義務付けられてもいるのですが，必ず「亜熱帯高圧帯」の影響には触れてください。亜熱帯高圧帯は中緯度高圧帯，亜熱帯高気圧ともいい，春や秋は緯度30°付近に位置していますが，夏になると緯度35～40°付近にまで移動し，少雨気候の原因となります。地中海性気候の夏の乾季の理由説明は必須です。

さらに，ぜひ冬の気候についても説明してください。冬は偏西風帯や寒帯前線の影響で一定の降水がみられます。本問の場合は「偏西風」が必須ワードですので，この語句は使用するべきですが，字数に余裕があれば寒帯前線について記述してもいいかもしれません。ここで注意して欲しいのは，降水がみられるからといって「多雨」という表現にはしないことです。たしかに②を含む地域のように多雨という言葉がふさわしいほど降水量が多い場所もありますが，一般的には④や⑤の地域のように，冬であっても際立って降水量が多くなるということはありません（統計などで数値を確認しておくといいでしょう）。「湿潤」が最も適切な語句ですが，「降水がみられる」でも構わないと思います。

続いて設問Ｃです。①のアイスランド島や②のカナダ太平洋岸においてフィヨルド海岸が広がっているのはわかりますね。フィヨルドは氷食谷に海水が浸入し形成された狭長な入り江です。これに対し，ニュージーランドは最南部にフィヨルドがみられるのは確かなのですが，③のウェリントン（北島の南端）にはフィヨルドはみられません。この地域は単に山地が沈降した深い入り江が存在しているだけなのです。よって，本問については「深い入り江」であることは明確に語るべきなのですが，フィヨルドという言葉を用いるならば，それは①と②にのみ該当し，③は含まれないことを説明しないといけません。「フィヨルドなど深い入り江がみられる」程度のニュアンスで濁しておくのが得策でしょう。

よって，ここはむしろ「経済的利用」に関する記述がポイントとなるのです。もちろん水深が十分であり，波が静かであることから天然の良港となることを述べ，漁業や貿易に関する話題を説明してもいいかもしれません。これによって経済的な側面が強調されるはずです。

最後に設問Ｄです。ヒンターランドという聞きなれない言葉が登場していますが，これには注意しなくて構いませんね。「後背地」とは，背後に広がる平野と考えてください。この平野において農業などの経済活動が行われることで，その都市が発展していくのです。

本問についても，土地利用を経済活動・産業と結びつけて論述することが重要となります。字数制限は120字と長くなっていますが，一つの都市について40字とすると，ポイントをかいつまんで短文で説明することが求められます。

まず②について。前述のように，この地域は地中海性気候でありながら，年間の降水量が多いことから主に森林地帯となっています。近接するバンクーバーや

シアトルは木材の積み出し港として発展しました。「林業」はここで使えます。サケ・マスなどの水産業，アルミニウム精錬からの航空機工業も盛んな地域ですが，土地利用とは関係ないので，今回は記述しない方がいいでしょう。

④のオーストラリア南西部では，一部で酪農や果樹栽培もみられますが，企業的穀物農業が行われていることが最大の特徴となっています。使用語句にも「小麦」が含まれていますので，こちらを強調するべきでしょう。オーストラリアの一般的な農業キーワードとして「大規模」や「粗放的」，「輸出用」などの言葉をちりばめてもいいかもしれませんね。ホイットルセー農牧業区分は非常に出題率が高いので，地図帳を用いてそれぞれの農牧業がみられる地域を細かくチェックしておきましょう。オーストラリアはアメリカ合衆国と同様に，適地適作が比較的徹底されており，農業区分が明確です。北東岸の「プランテーション農業」，メルボルン周辺の「酪農」，南西部およびマリー川流域の「企業的穀物農業」などは非常に重要ですので必ずチェックしておくこと。また，「企業的牧畜」は広い範囲で行われていますが，グレートアーテジアン盆地の被圧地下水を利用して放牧される羊，比較的降水量が多い地域で放牧され，さらにフィードロットで肥育される肉牛など，それぞれ特徴が際立っており，整理しておくといいでしょう。

最後の⑤の地中海東岸地域ですが，やや乾燥の度合いが強いところではあるものの，果樹栽培を中心とした地中海式農業に特色がみられます。「柑橘類」を使って説明してみましょう。降水量が少ないことから，「灌漑」がしばしば必要となる地域です。

[３－３]

気候と農業に関する問題となっています。設問Ａの図の判定は大丈夫ですか？カラー印刷の地図帳ばかりを見ていると，こういった問題で足をすくわれますよ。さまざまな問題を解いてみて，こうした略図を目で捉える経験値を上げておきましょう。問題そのものは気候，農業とも非常にオーソドックスで，そして出題率の極めて高いものです。

設問Ａからみていきましょう。ＡからＣについてはそれぞれどこの地域かわかりますか。緯度や経度から判定すれば容易なので，先に答えを言ってしまいますね。Ａは南アメリカ大陸太平洋岸のペルー周辺で，山脈はアンデスです。Ｂはア

フリカ大陸北西部のアルジェリア周辺で，山脈はアトラスです。**C**はインド半島南西部で，山脈は西ガーツです。それではこれらの地域の特性を意識して(**1**)に取り組んでいきましょう。

ここでは乾燥気候の成因について解答が求められています。乾燥気候の成因は，次の４つがあります。

１)中緯度高圧帯の影響(対流性砂漠)・・・緯度30°付近に中緯度高圧帯が形成されている。下降気流が卓越し，雲が生じにくい。サハラ砂漠やアラビア半島，オーストラリア内陸部など。
２)寒流の影響(海岸冷涼砂漠)・・・沿岸を流れる寒流の影響で，海表面・地表面付近の空気が冷却され密度を増す。大気が安定することで上昇気流が生じにくくなり，少雨となる。ベンゲラ海流に沿うアフリカ大陸南西部のナミブ砂漠，ペルー海流に沿うチリ北部のアタカマ砂漠など。
３)隔海度の高さ(内陸砂漠)・・・内陸部に位置し，海洋からの水分がほとんど供給されないため，少雨となる。とくに高峻な山脈によって海と遮られているユーラシア大陸中央部のタクラマカン砂漠やゴビ砂漠などは，比較的緯度が高く冷涼な気候ながら，強い乾燥地域となっている。
４)恒常風の風下斜面(地形性砂漠)・・・偏西風や貿易風など恒常風が湿った空気を伴って山脈にぶつかる場合，風上斜面側では多雨気候となるのに対し，風下斜面側は少雨気候となる。乾いた風が吹き下すことで，フェーン現象を生じることも。貿易風の風下斜面側であるマダガスカル島西部や，偏西風の風下斜面側であるパタゴニア地方東部(アルゼンチン南部)など。

ここで注意して欲しいのは，乾燥の定義です。乾燥とは「降水量＜蒸発量」のバランスとなる状態のことで，樹木が生育しません(無樹木気候)。この反対が湿潤であり，こちらは「降水量＞蒸発量」です。そもそも乾燥の条件には，降水量が少ないだけでなく，蒸発量が多い，すなわち気温が高いことも一つのファクターとなるのです。このことを頭に入れておくと記述がしやすいと思われます。

(**2**)についてはとくに問題ないでしょう。アンデス高原特有の農作物と家畜です。

(**3**)に関しては，インド半島西部の気候を想像してみましょう。もちろん季節風

の影響が強いのです。理由は30字以内にまとめないといけないのであまり詳しく説明できませんが，少なくとも風向に関する記述は含めましょう。

（4）もインドがわかれば大丈夫ですね。主食作物については多雨であることがポイントです。商品作物については，インドを代表するものをいくつか考えることができると思いますが，ここでは「丘陵」が強調されていることに注意してください。排水性がよい丘陵地帯で生産される作物を考えてみましょう。

さらに設問Bです。一つ目の問題点としては，日本とアメリカ合衆国との間の貿易を考えてみればいいのでは。わが国がアメリカ合衆国から多くの農産物を輸入することによって生じる問題点とは何でしょうか。さらに二つ目の問題点として書きやすいのは，いわゆるフードマイレージの問題でしょうか。農産物輸送に伴う問題点を挙げてみてください。あるいは，「適地適作」という言葉が問題文で使われていることもあり，アメリカ国内の農業の問題点をピックアップしてもいいかもしれません。大規模機械化，大量生産によってどのような弊害がみられるのでしょうか。連作障害，土壌流出など土壌の劣化に関する問題点，灌漑による地下水の枯渇，地盤沈下，塩害など，いろいろなことが考えられますね。

これとは異なり，農産物をカカオなどのプランテーション作物と解釈し，これに依存するアフリカ諸国の問題点を説明するというパターンもあるかも知れません。モノカルチャー経済の陥る罠を説明しましょう。

第３講　練習問題

［３－１］ 東大　2010年度・第１問

世界と日本のダムと環境に関連する以下の問(１)～(５)に答えなさい。解答は，解答用紙の(イ)欄を用い，問ごとに改行し，冒頭に問番号をつけて記入しなさい。

(１)ザンベジ川のカリバダムと，エニセイ川のクラスノヤルスクダムは，いずれも世界有数の貯水量を有するダムである。これらのダムは異なる気候帯に属している。これら２つのダムの目的の違いを，気候に関連づけて，60字以内で述べなさい。

(２)ダムには水だけでなく，上流域で侵食によって生じた土砂が，流れ込んで堆積する。**図１**は，その量をもとにダムの流域の侵食速度を推定し，その分布を示したものである。中部地方には特に侵食速度の大きなダムが集中し，四国地方にも侵食速度の比較的大きなダムが多い。このような地域差が生じた要因として，考えられることを，60字以内で述べなさい。

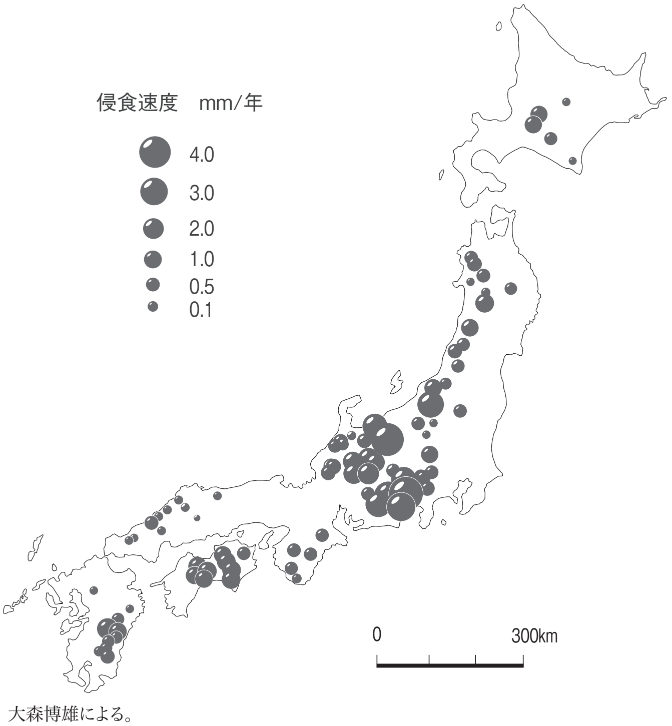


図１

（**３**）ダムに土砂が堆積することによって生じる問題を，下記の語句を全部用いて，90字以内で説明しなさい。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

海岸　　洪水　　水資源

（**４**）**図２**は，流域の面積や地形は同様だが，土地利用が異なる３つの河川**Ａ**～**Ｃ**における，降雨開始後の流出量（河川流域の通常からの増加量）の変化を，模式的に表したものである。**Ａ**～**Ｃ**の流域の主要な土地利用は，森林，水田，裸地のいずれかである。流域の土地利用が森林である河川は，**Ａ**～**Ｃ**のいずれかであるかを答え，続けて，この図をもとに森林が「緑のダム」と呼ばれる理由を90字以内で答えなさい。

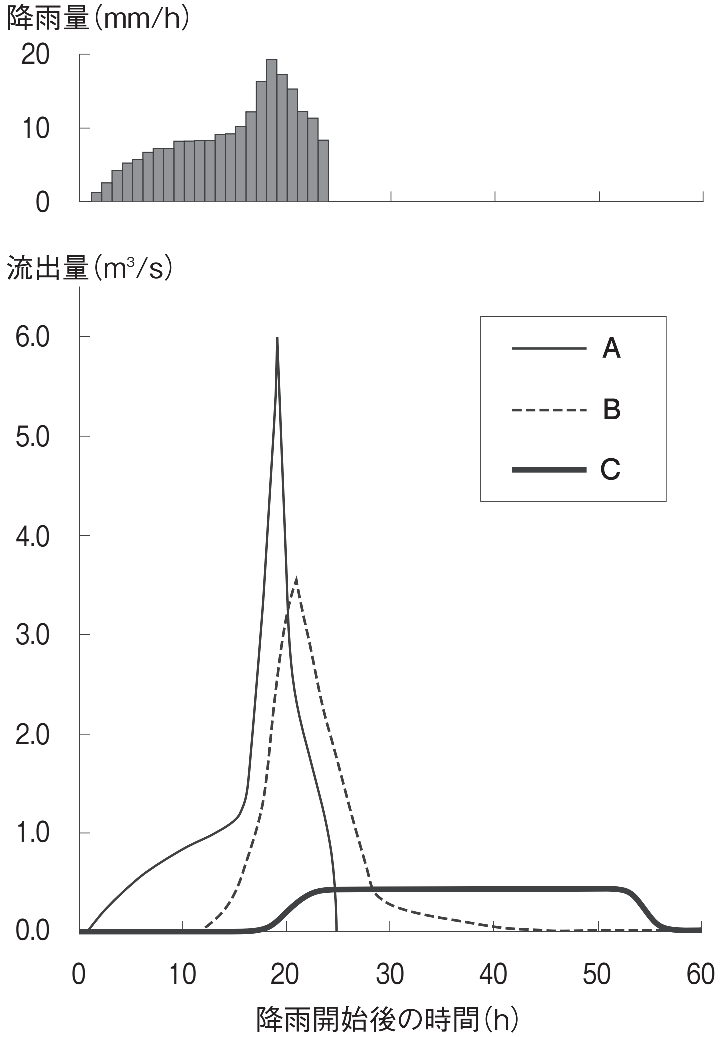


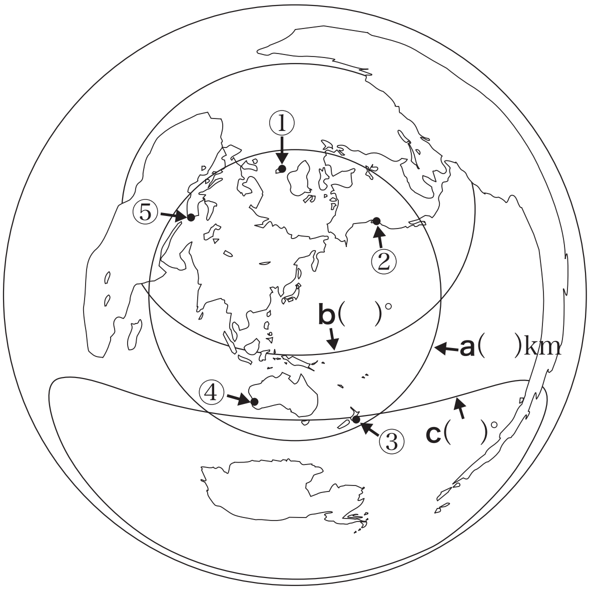
図２

（５）日本の日本海側の積雪や，ヨーロッパアルプス・ヒマラヤ・ロッキーなど世界各地に広がる氷河は「白いダム」とも呼ばれる。「白いダム」は，（４）でとりあげた「緑のダム」と比較して，どのような役割があると考えられるか。下記の語句を全部用いて，90字以内で説明しなさい。語句は繰り返して用いてもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

季節　　流出　　渇水

［3－2］ 東大　1991年度・第1問

次の図は，東京を中心として正距方位図法で描いた世界の略図である。図のa線は東京を中心とした円を表し，b線およびc線は緯線を表している。図の①～⑤は，東京から類似した距離にある都市で，いずれも海岸に立地し，首都あるいは州都である。①と③の気候，②と④と⑤の気候には，それぞれ類似している点がある。この図に関する設問A～Dに答えよ。解答は，解答用紙の(イ)欄を用い，設問ごとに改行し，設問記号をつけて記入せよ。



設問A（省略）

設問B

①・③の気候と②・④・⑤の気候との間には，どのような違いがあるか。下記の語句をすべて使用して，90字以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

亜熱帯高圧帯　　偏西風　　乾季

設問C

①，②および③には類似した海岸地形がみられ，都市の成立や産業の発展に深く関わってきた。海岸地形の特徴およびその海岸地形の経済的利用について，60字以内で述べよ。

設問Ｄ

②，④および⑤の後背地（ヒンターランド）における土地利用には異なる点も多い。その違いについて，下記の語句をすべて使用して，120字以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

小麦　　柑橘（かんきつ）類　　林業

［３－３］ 東大　2013年度・第２問

世界の農業と水産業に関する以下の設問Ａ～Ｃに答えなさい。解答は，解答用紙の(ロ)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問Ａ

世界各地の大陸の沿岸部をみると，海岸線から比較的近い場所に長大な山脈が走り，海岸から内陸に数百キロ移動する間に，自然環境や土地利用が大きく変化する地域がある。このような地域に関する以下の問いに答えなさい。

(１)図２の地域Ａと地域Ｂはいずれも砂漠気候がみられる。砂漠気候がみられるのは，それぞれ山脈をはさんで海岸側と内陸側のどちら側か。地域Ａ，地域Ｂの順に，それぞれの地域の砂漠気候の成立理由とあわせて，全部で90字以内で述べなさい。

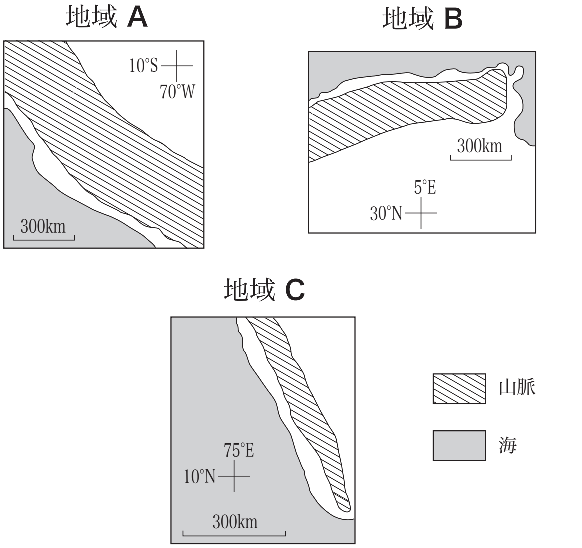


図２

(２) 地域Ａの概ね2000m以上の山岳地域で栽培・飼育されている代表的な農作物と家畜を，それぞれ１つずつ挙げなさい。

(３) 地域Ｃでは５～10月，11～４月のいずれの時期に降雨が集中するか。その

理由とともに30字以内で説明しなさい。

（４）地域Ｃの海岸地帯で生産されるこの地域の主食となっている農産物（ア）と，山麓の丘陵地帯で生産される代表的な商品作物（イ）を，ア－○，イ－○のように，それぞれ１つずつ挙げなさい。

設問Ｂ

　農産物を，生産された地域のみで消費することに比べて，適地適作の観点から，最適な地域で大規模に生産して国際的に取引する方が，より効率的に，かつ安価に食料を確保することができると言われている。その反面，このことによってどのような問題が生じると考えられるか，想定される問題点を２つ挙げて，90字以内で説明しなさい。

設問Ｃ（省略）

第３講　確認テスト

［１］　東大　2003年度・第２問

世界の自然環境および都市に関する以下の設問Ａ～Ｂに答えよ。解答は，解答用紙の(**ロ**)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問記号をつけて記入せよ。

設問Ａ

次の**図１**の(**ア**)～(**ウ**)は，それぞれ熱帯，温帯，極地のいずれかの地点について，気温の日変化(縦軸)と年変化(横軸)を，等温線のパターンによって模式的に示したものである。ただし，同じ濃さでも三つの地域の間で互いに同じ気温を示しているわけではない。

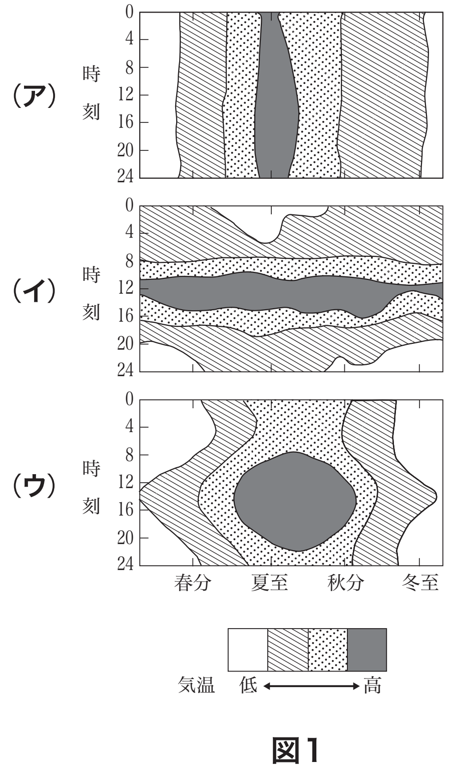


図１

(１)(**ア**)～(**ウ**)は，それぞれ熱帯，温帯，極地のうちのどの地域に対応しているか。それぞれ(**ア**)－○○のように答えよ。

(２)(**ア**)と(**イ**)の等温線のパターンの違いが生じる理由を，60字以内で述べよ。

設問B（省略）

［２］　東大　2006年度・第１問

南アメリカの自然と産業に関する以下の設問A～Cに答えよ。解答は，解答用紙の(イ)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問記号をつけて記入せよ。

設問A

次の**図１**の**ア**～**エ**は，**図２**中の**a**～**d**（各国の首都）における月平均気温と月降水量の年変化を示したものである。

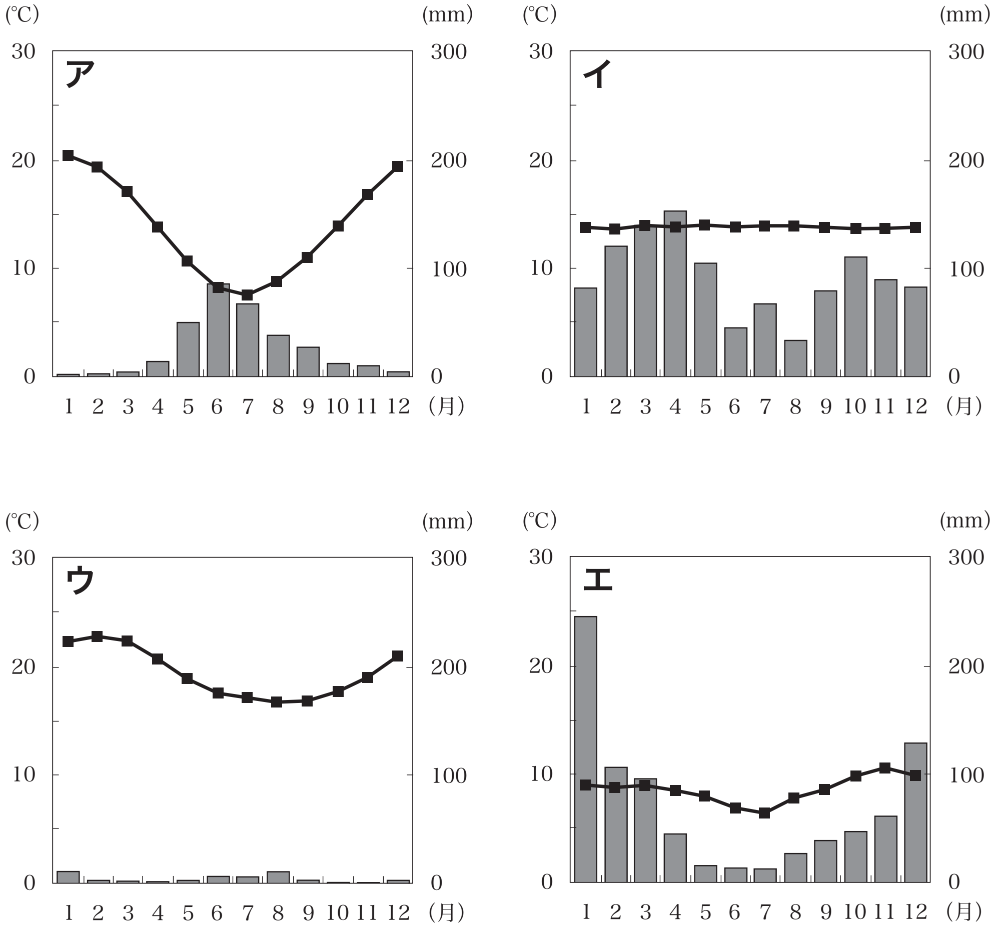


図１

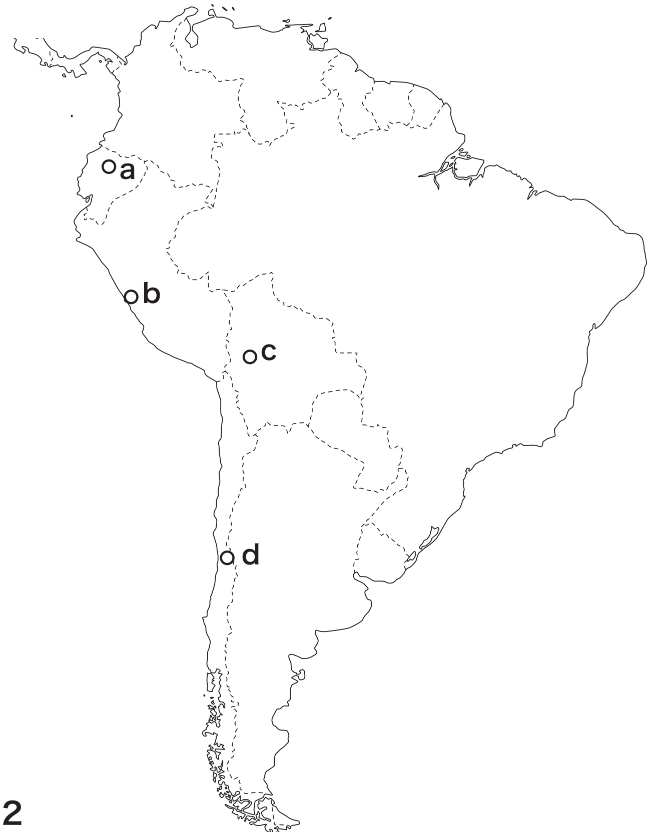


図2

（1）ア～エの都市を，**図2**中の記号で，それぞれア－○のように答えよ。

（2）イの都市を（1）のように判断した理由を，60字以内で述べよ。

設問B（省略）

設問C（省略）

〈*Note*〉

第４講
自然環境に関する論述問題（２）

［４－１］

気候，農業，土壌は論述問題としては非常に出題率が高く，さらに記述するべき内容が決まっているので，得点源になりやすいジャンルです。それぞれの気候帯，農牧業区分，土壌について説明できるようにしておきましょう。

設問Ａは気候に関する問題ですが，これはそのまま気候区分についての説明を記述すれば得点になります。非常にわかりやすい問題ですね。

「気候は緯度の影響を強く受ける」とあります。要するに赤道低圧帯や中緯度高圧帯，偏西風帯といった気圧帯や恒常風によって気候が決定づけられることを意味しています。図中のａとｂはいずれも緯度10°付近に位置し，この緯度帯に特徴的な気候がみられるはずです。

ただ，ちょっと気をつけてくださいね。あなたがもし十分な知識があって，両地点の気候区分について「サバナ気候」であることがわかり，この気候に関して例えば「疎林と長草草原がみられる」というような説明をするならば，それはちょっと考えが浅いということになります。本問の場合，問題文において緯度と気候との関係が強調されているわけですから，やはり気圧帯の季節的な移動について論述することが求められているのではないかと深読みしてください。

そのことさえ意識できれば，解答は容易でしょう。雨季と乾季が生じるシステムについて，赤道低圧帯や中緯度高圧帯の影響をふまえて，説明してください。なお，サバナ気候の説明においては，いわゆる夏を「高日季」，冬を「低日季」とするのが普通ですので，よかったらこの言葉も使ってください。この緯度帯においては冬であっても気温が高いので，冬という言葉をそのまま使ってしまうと違和感があるのです。

ただし，本問には別のアプローチもありますので紹介しておきますね。私が意識したのは，上でも説明したように「緯度の影響」と「共通にみられる気候の特徴」なのです。よって，両地点の気候について気圧帯の移動によってまとめて説明してしまいました。でも，みなさんの中にはこれに異議を唱える人もいますよね。

そう，解釈によっては上のことは必ずしも言えないのです。

問題となるのはａです。東南アジアを含む湿潤アジアにおいて降水量の変化に大きな影響を与える最大の要因は「モンスーン（季節風）」なのです。文字数が限られているので詳しい説明は不可能なのですが，ａ地点の雨季と乾季の生じる理由として「季節風」に触れてもいいかもしれません。なお，東南アジアの場合は東アジア（夏は南東季節風，冬は北西季節風），南アジア（夏は南西季節風，冬は北東季節風）のように季節風の風向を明確に記すことが困難です。よってここは，例えば「海洋からの季節風」，「大陸からの季節風」などのようにあえて方向を書かないで表現することをお勧めします。模範解答ではこれについては触れていませんが，各自で工夫してみてください。

さらに設問Ｂです。設問Ａではａとｂの共通点を記述することを求められましたが，こちらでは相違点について説明することが求められています。字数制限は90字と増えていますが，一つの地点あたりの文字数は40字程度となり，むしろよりシンプルな解答をする必要があります。

ａはメコン川のデルタ地帯です。農牧業区分でいえば，アジア式稲作農業でしょうか。アジア式稲作農業は，集約的稲作農業，自給的稲作農業ともいい，また「稲作」を「米作」としても構いません。「自給的」，「集約的」，「家族中心の零細経営的」などといった定番の農業キーワードをうまく組み合わせて文章を組み立ててください。もちろん，水田が開かれている土地の特徴として「沖積平野」というキーワードも含めてくださいね。

さらにｂはブラジル中部です。「大農園」というキーワードからこちらは「プランテーション農業」と解釈することが可能でしょう。作物としてはサトウキビやカカオが適切です。コーヒーと間違える人がいるかも知れませんが，コーヒーの栽培地はブラジル高原南部であり，ｂの場所からは遠く離れています。ａと対照させるためにこちらも農業キーワードを必要なら使うべきですが，自給的の反対語として「商業的」（あるいはサトウキビについて「商品作物」とする）という言葉を使うと便利かも知れません。なお，集約的の反対は「粗放的」ですが，これはプランテーション農業においては該当しにくい言葉ですので不使用で構わないでしょう。家族中心の零細経営的については「企業的」が反対語となりますが，これについては「大規模」な農業経営であることを伝えておくのが上手い書き方です。南アメリカ大陸では「大土地所有制」による農場経営が一般的であり，この言葉を用いるのが適切でしょう。

設問Cは土壌の説明です。「熱帯地方のうち雨が多い地域の土壌」とありますが，一般的な熱帯の土壌として「ラトソル」を考えたらいいでしょう。温帯の土壌といえば褐色森林土なわけですが，これが比較的肥沃な土壌であるのに対し，ラトソルはやせています。これには熱帯特有の気候条件が重要な要素となっています。

一つ目は「高温」です。微生物の活動が活発となり，有機物の分解が速く進みすぎて，腐植が形成されにくいのです。二つ目は「多雨」です。栄養分が降雨によって流出してしまうのです。これ以外に地表面に酸化した金属（鉄やアルミニウム）が集積している（激しい降雨により土壌中の水溶性の部分が洗い流されてしまい，金属のみが残存する）という特徴もありますので，字数制限と相談しながら，これらの要素をうまく組み合わせて説明してください。

最後は設問Dです。こちらはある程度常識的な内容で構わないと思います。大河周辺には沖積平野が形成されやすく，平坦な地形が農耕に適すること，とくに水田耕作の場合は水を得ることが重要なのですが，そのためには河川周囲に耕地を設けることが都合がいいこと，洪水も頻繁に生じるものの，その度に上流から肥沃土が供給されることなどを，制限文字数に従って述べてみましょう。斜面に耕地を開いた場合には土壌流出や土壌侵食（アメリカ合衆国や中国の丘陵地ではこの環境問題が深刻ですね）の被害があるのですが，河川沿いの低地ならばその懸念はありません。文字数に余裕があれば，これについて言及してもいいでしょう。当たり前のことを当たり前に答える問題なのですが，かえって難しいでしょうか。

［４－２］

植生に関する問題もしばしば登場します。本問では熱帯林と冷帯林の違いが問われていますが，そもそもケッペンの気候区分が植生に基づくものであるだけに，気候区や気候区分と対応した植生の特徴には慣れておく必要があります。サバンナやステップ，ツンドラといったカタカナ言葉，さらに照葉樹や硬葉樹など特定の気候区分と結びつく植生など，簡単な文章で説明できるようにしておきましょう。

それでは，設問Aからみていきます。まず（１）は植生に関する問題ですが，２

つの地域が対比的に取り上げられていますので，説明についてもやはり対比を意識して述べるべきでしょう。aは熱帯林です。「常緑広葉樹」の「硬木」が多く，「樹種は多様」となります。bは冷帯林です。「針葉樹」の「軟木」からなり，「樹種が少ない（純林）」ことに特徴があります。熱帯林には高級材が多く，冷帯林はパルプ材として利用されやすいのですが，そのことまで書こうとしたら文字数が足りないでしょうか。

さらに（２）ですが，明らかに明確な地域があるので，まずはそれを指摘することです。また問題文には「理由は２地域に共通であっても構わない」とありますので，その言葉に甘えてしまいましょう。説明も楽になりますし，とくに60字という字数制限を考えた場合，２つの事例を個別に書く余裕はないでしょう。「年平均流出量が少ない」つまり少雨となる原因について言及すれば大丈夫です。アフリカ北部やオーストラリアを取り上げ，「中緯度高圧帯」を原因とし，「下降気流」が卓越していることを述べたら十分でしょう。なお，本問では流出量の少なさの原因を説明することが求められており，「森林がないこと」すなわち乾燥の度合いが高いことについての理由は不要です。乾燥と少雨を同じものとして考えている人はいませんか？乾燥とは「降水量＜蒸発量」のバランスによるものであり，降水量だけが乾燥の理由にはならないのです。蒸発量が多いことすなわち気温が高いことも同じく重要な要素となるのです。ただし，上記のように本問では乾燥について言及することは不要ですし，気温の高さや蒸発量については必ずしも触れる必要はありません。一応意識しておいてくださいね。

（３）はちょっと変わった観点からの問いになります。年平均流出量が多いのですから，降水量の多い地域でしょう。しかし，それでありながら森林が少ないのですから，森林とは違った土地利用がなされているはずです。この土地利用の種類について見当がつけられたら解答は容易と思います。むしろ字数を埋めることの方が大変かと思いますので，工夫して文章を組み立ててみましょう。「人口密度」が問題を解くカギとなるはずです。インドや中国を考えればいいでしょう。

なお，別解としてフィリピン北部（ルソン島）やタイ内陸部を取り上げてみてもいいかなとは思っています。こちらは，輸出用の木材として熱帯林が広く伐採された地域なのです。もちろん木材の主な輸出先は日本です。統計でフィリピンやタイの国土総面積に占める森林の割合を調べておくといいでしょう。

［４－３］

森林を中心として，環境問題や土壌も含めた総合的な問題となっています。

問題Ａに取り掛かりましょう。まずは論述問題以外の正解を答えていきます。
（１）は「生物多様性条約」です。しばしば，希少な動植物の国際的取引を制限するワシントン条約と混同されますので，注意してくださいね。
（２）はＱです。コンゴ盆地には広く熱帯雨林がみられますが，その東側の限界はアフリカ地溝帯に沿う高原地帯の西麓です。

では論述問題に取り掛かってみましょう。最初に（３）について。バングラデシュは低地国です。ガンジス川・ブラマプトラ川水系のなす三角州に国土が乗り，海抜が１メートルに達しないような低湿地の面積が国土の１割にも達すると言われています。すっきりと，地球温暖化に伴う「海水面上昇」について答えればいいでしょう。地球温暖化については，サイクロンなど熱帯低気圧の規模が大きくなり，そのため高潮被害も大きくなるといったようなことも考えられなくはないのですが，文字数的にそこまでは答えられませんね。

さらに（４）について。それぞれ40字で答えるということなのですから，意識して異なった内容を書かないといけませんね。東南アジアにおいては，かつてフィリピンやタイで顕著だったように，日本向けの輸出用木材の伐採という問題があります。また，近年のインドネシアでは油ヤシのプランテーションが拡大しているのですが，これにより多くの熱帯雨林が失われています。これらについて整理して記述してください。沿岸域のマングローブ林がエビの養殖池として開発されることによる熱帯林の減少もありますが，字数的にこれに触れることは厳しいでしょうか。
南アメリカについては具体的にアマゾン低地における状況に言及すれば良いと思われます。アマゾン低地においては，カラジャス鉄山など鉱山の開発によって熱帯林が失われました。また，トランスアマゾンハイウェイなど道路（鉄道ではないので注意です）の建設も行われています。さらに熱帯林を切り開いて，多くの牧場や大農園が設けられています。ブラジルでは肉牛の飼育や，バイオエタノールの原料用のサトウキビ栽培が拡大しているのです。おおまかにこういった要因について，箇条書きに近いスタイルで書き並べていけば十分に及第点でしょう。

（５）では土壌に関する話題が問われています。熱帯雨林気候そのものは高温多雨という植物の生育に適した環境ではあるのですが，土壌の劣化がそうした植物の成長を妨げています。樹木が伐採され，裸地化した土壌からは激しい降雨によって表土が流出します。また，地表面に金属（酸化鉄や酸化アルミニウム）が集積することで表面が硬化し，植物が根を張ることが困難になりますが，これを「ラテライト化」という場合があります。ラテライト化については，風化作用が活発であることと結びつけて説明する必要があるのですが，入試地理レベルではそこまで詳しい理解は必要ないと思われます。単に「ラテライト化」あるいは「地表面に金属が集積」（正確には「残存」なのですが，この部分も入試レベルではこだわらなくて良いと思います）という表現を用いれば十分です。

問題Ｂに入ります。このように地形図を利用した問題もしばしば見受けられますね。東大や京大では出題率は高くないのですが，筑波大などでは必須のジャンルとなりますので，そうした大学を受験するみなさんは十分な対策をしておきましょう。

（６）ですが，人工林には建築材料として重要な針葉樹が植えられます。「相対的に新しい」ということは，天然林ではなく人工林を考えればよく，さらに建材として一般的な「スギ」や「ヒノキ」がこれに該当します。

（７）については一般的な内容を述べればいいでしょう。地形図問題では深い知識よりも，地形図を通して予想される，当たり前の内容が問われるケースが多々有ります。「この地域の産業」とは（６）からわかるように「林業」でしょうから，林業のためにこの道路が使用されることを想像し，その内容を具体的に示してください。行き止まりになっているということは，少なくとも他地域と結ばれた幹線道路ではないでしょうし，集落も周囲にみられないので生活道路でもないわけです。「植林」，「管理」，「運搬」など具体的な作業について述べてもいいですし，「林道」と言い切っても構いません。各自工夫してみましょう。

さらに，林業が「かかえている主要な問題」ですが，これについても奇をてらった内容ではなく，当たり前のことを確実に論述すれば大丈夫です。ただし，60字とやや字数が多いので，トピックは複数用意しましょう。一つは，林業自体が衰退していること。安価な輸入木材に押され木材の国内自給率は1960年代に比べ低下しています（木材の輸入は自由化されています）。もちろん木材伐採量その

ものも減少しているでしょうから，十分な管理が行き届かない荒れた森林が増えていくのです。さらに，農業も含めた第一次産業の一般的な問題点として，就業者の減少と高齢化があります。森林の管理も十分には行き届かなくなるでしょう。後継者不足という観点から取り上げてもいいかもしれません。これら，「当たり前」の内容をうまく組み合わせ，文章を仕上げてみて下さい。

〈*Note*〉

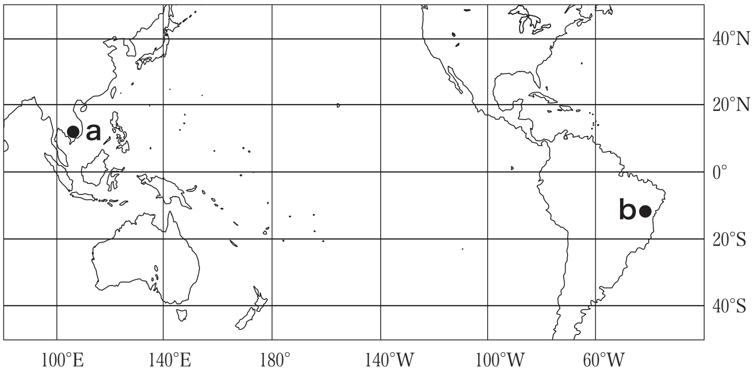
第４講　練習問題

［４－１］　東大　1998年度・第１問

気候と農業および土壌と農業に関する以下の設問Ａ～Ｄに答えよ。解答は，解答用紙の(イ)欄を用い，設問ごとに改行し，設問記号をつけて記入せよ。

設問Ａ

気候は緯度の影響を強く受けるため，異なる大陸でも同じような緯度で類似した気候が出現することがある。図に示したａとｂに共通にみられる気候の特徴を60字以内で述べよ。



設問Ｂ

農業は気候の影響を強く受けるが，他の自然条件あるいは社会経済条件などの影響も大きいため，同様の気候を示す地域であっても農業のあり方が大きく異なることがある。図に示したａとｂにおける主要な農作物や農業形態の相違点について，下記の語をすべて用いて90字以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

沖積平野　　大農園

土壌は人間にとってもっとも重要な資源のひとつであり，農業はこの資源を消費することで成り立ってきた。植物の成長に必要な養分は，岩石から供給され，いったん植物に吸収された後，腐植となって土壌中に蓄積される。土壌に蓄積された養分は，最終的に海洋に運搬され失われていく。

設問Ｃ

熱帯地方のうち雨が多い地域の土壌は，一般に温帯地方の土壌よりも肥沃度が低い。この理由を60字以内で述べよ。

設問Ｄ

洪水による災害の危険があるにもかかわらず，人間は大河のほとりで長期にわたって高い生産性を維持して農業を営んできた。この理由を60字以内で述べよ。

［４－２］ 東大　2009年度・第１問

全球スケールおよび地域スケールの環境に関連する以下の設問Ａ～Ｂに答えなさい。解答は，解答用紙の(イ)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問Ａ

次の**図１**は，世界の森林の分布を示しており，色が濃い場所ほど森林が密である。続く**図２**は，世界の年平均流出量の分布を示す。流出量とは，降水量から蒸発散によって失われた分を差し引いた値である。なお，図中の実線は赤道であり，３本の破線は上から順に北極圏の南限(北極線)，北回帰線，南回帰線である。また，**図１**と**図２**の投影法は異なっている。これらの２つの図を見て，以下の小問に答えなさい。

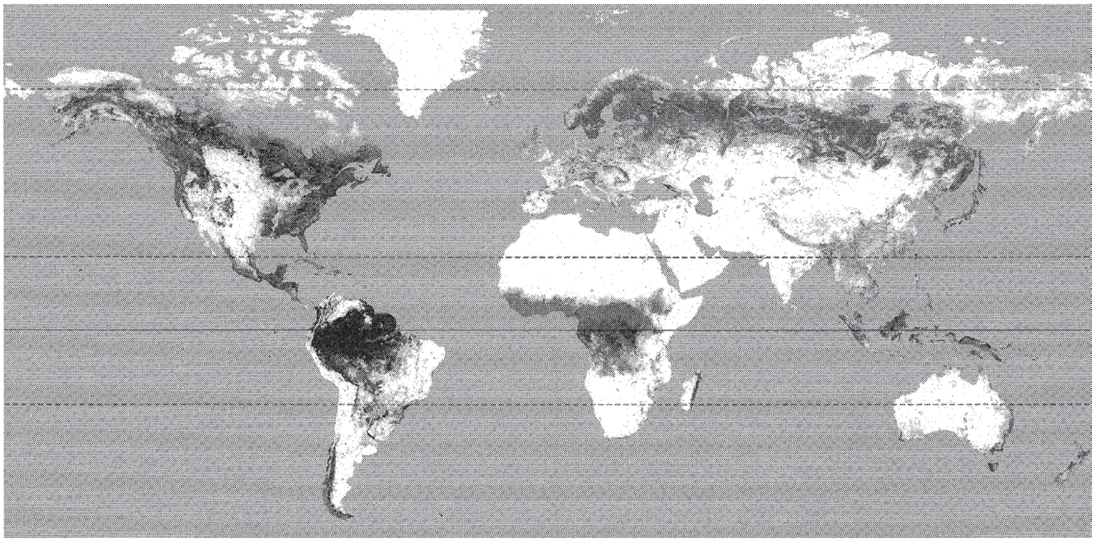


図１

世界の森林密度。
地球地図国際運営委員会事務局による。

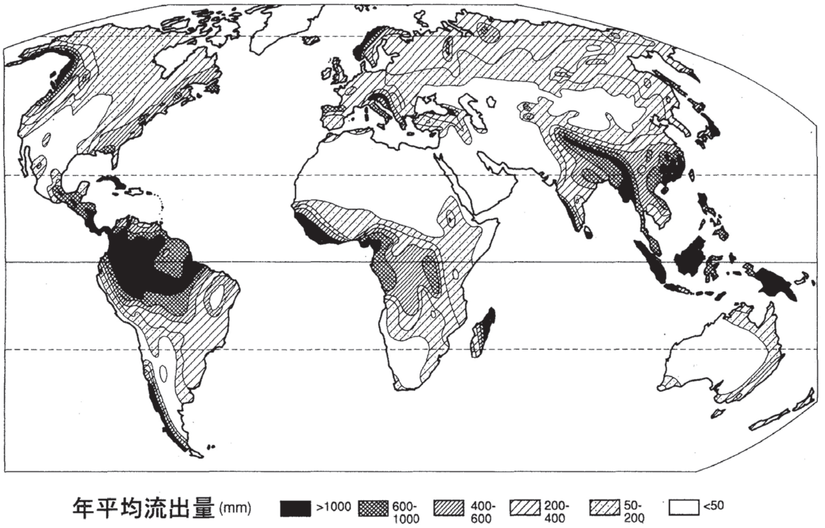


図２

Summerfield,M.A.1991.Global Geomorphology による。

（１）森林と年平均流出量がともに多い地域は，ａ）赤道付近，およびｂ）ユーラシア大陸と北米大陸の北部にまとまっている。ａ）とｂ）に分布する森林の名称と，両者の樹種の違いを，あわせて60字以内で述べなさい。

（２）森林がほとんどなく，年平均流出量が少ない地域がいくつか見られる。それらのうち，代表的な地域を北半球と南半球からそれぞれ１つ挙げ，それらの地域で年平均流出量が少ない理由とあわせて60字以内で述べなさい。理由は２地域に共通であっても構わない。

（３）年平均流出量が多く，森林が少ない地域がいくつか見られる。それらのうち，森林が少ない共通の理由を持つ代表的な地域を２つ挙げ，その理由とあわせて60字以内で述べなさい。

設問Ｂ（省略）

［４－３］　京大　2012年度・第１問

次のＡ，Ｂに答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については，句読点を字数に含めよ。

Ａ　熱帯林に関する以下の文を読み，問（１）～（５）に答えよ。

熱帯林は高低さまざまな樹種から構成される森林であり，（ａ）貴重な動植物が生息する空間となっている。（ｂ）赤道を中心に広く分布する熱帯林は，世界の森林面積の半分近くを占めており，温室効果ガスを吸収することによって，（ｃ）地球温暖化を緩和する役割を担っている。このように地球に暮らす動植物にとって貴重な存在である熱帯林は，20世紀後半以降に急速に破壊されてきた。

図１は熱帯林を破壊する直接的な要因を，農牧業の開発によるもの（AGRO），社会基盤の整備によるもの（INFRA），木材の取得によるもの（WOOD）の３項目から整理したものである。**図１**からは，熱帯林が複合的な要因によって破壊されてきたことがわかるが，（ｄ）アジアと南アメリカでは要因に違いがみられる。（ｅ）いったん破壊された熱帯林の回復は難しく，持続可能な森林開発が課題となっている。

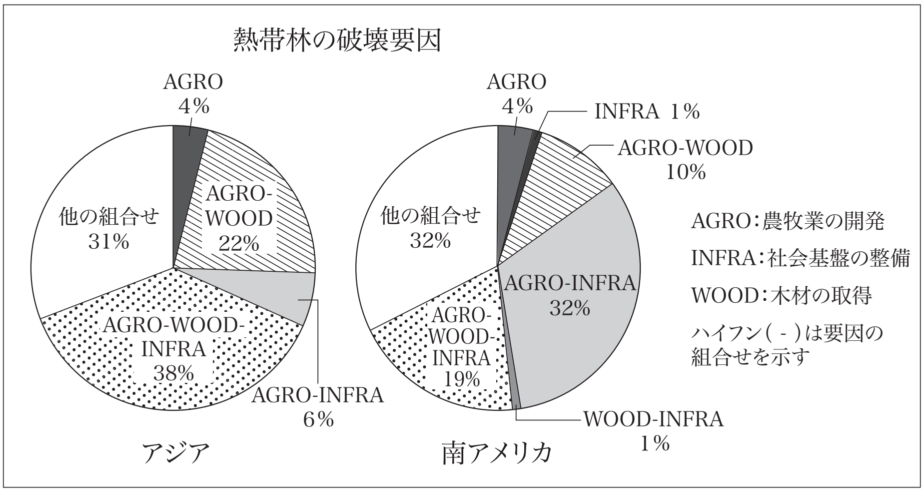


図１

資料：Geist and Lambin（2001），*What Drives Tropical Deforestation ?*

問

（１）下線部（ａ）に関して，動植物の種の保全と持続可能な利用のために結ばれた国際条約の名称を答えよ。

（２）下線部（ｂ）に関して，次の**図２**中の**Ｐ**から**Ｓ**の線分のうち，アフリカ大陸における熱帯林の東限を示すものを１つ選び，記号で答えよ。

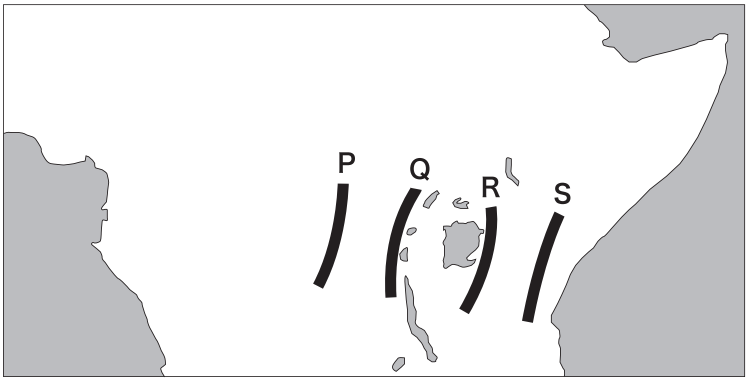


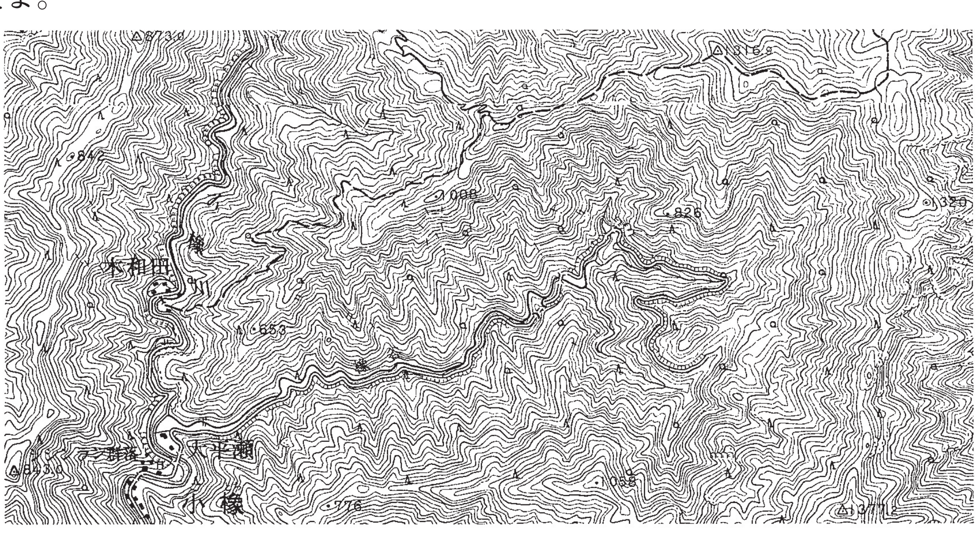
図2

（３）下線部（ｃ）に関して，バングラデシュで懸念されている地球温暖化の影響について，10字以内で述べよ。

（４）下線部（ｄ）に関して，アジアと南アメリカにおける熱帯林破壊の要因について，具体的な内容に言及しながら説明せよ。アジアについては解答欄①に，南アメリカについては解答欄②に，それぞれ40字以内で記せ。

（５）下線部（ｅ）に関して，熱帯林の回復を難しくする土壌の変化について，20字以内で述べよ。

Ｂ　下の地形図は紀伊山地のある地域を示している。これを見て，問（**６**）（**７**）に答えよ。



問
(６)この地域の森林植生は，形成の背景と時期が異なる２つの樹林から構成されている。このうち，相対的に新しい時期の樹林を代表する樹木の名称を１つ答えよ。

(７)図中にみられる行き止まりの車道は，この地域の産業においてどのように利用されているか。20字以内で述べよ(解答欄①)。また，日本においてその産業が一般にかかえている主要な問題は何か。60字以内で述べよ(解答欄②)。

〈 ***Note*** 〉

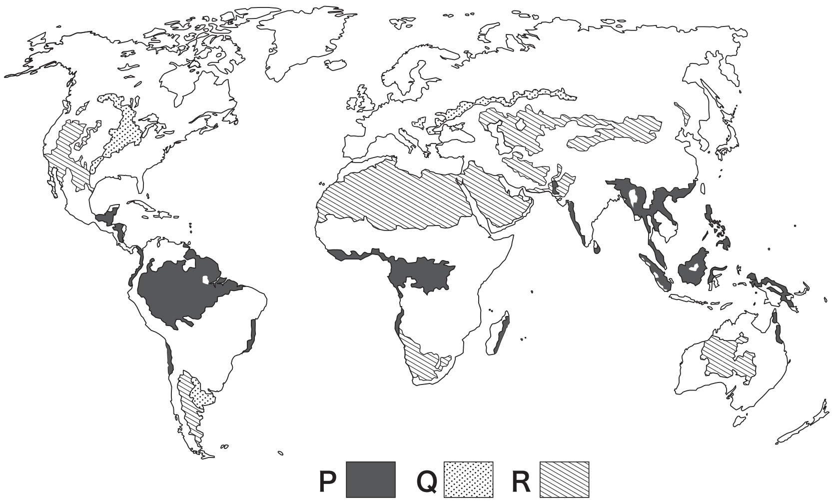
第４講　確認テスト

［１］　東大　2005年度・第１問

世界の植生および水資源に関する以下の設問Ａ～Ｂに答えよ。解答は，解答用紙の(イ)欄を使い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問番号をつけて記入せよ。

設問Ａ

次の図は，世界の植生のうちから三つを選んで，その分布を示したものである。



図

（１）Ｐの分布域の植生の利用とその問題点について，60字以内で述べよ。

（２）Ｑの分布域とほぼ重なる地域において卓越する農業の特徴について，代表的な栽培作物名を一つあげて，60字以内で述べよ。

（３）Ｒに隣接する地域では，地球規模での，ある環境問題が深刻化している。その原因について，次の語句をすべて使用して，60字以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所には下線を引くこと。

降水量　　農耕

設問Ｂ（省略）

第５講
地誌に関する論述問題

［５－１］

中国の地誌に関する問題です。総合的にいろいろな内容が問われていますので，自分の弱点を見つけるには最適の大問です。

（１）は基本ですね。答えを言ってしまいましょう。山脈Ａはチンリン山脈，河川Ｂはホワイ川です。

さらに（２）についても難しくないでしょう。正解は「え」と「お」です。「え」の西岸海洋性気候は西ヨーロッパなど偏西風の影響が強い地域にみられるもので，中国は該当しません。「お」の熱帯雨林気候は年間を通じ高温かつ多雨である低緯度地域の気候で，こちらも中国にはみられません。

「あ」の温暖湿潤気候は華中など。「い」の温暖冬季少雨気候は華南など。「う」の砂漠気候は内陸部のシンチヤンウイグル自治区など。「か」の冷帯冬季少雨気候はシベリア高気圧の影響の強い東北地方など。

（３）は，Ｃがチベット族，Ｄがチョワン族となります。それぞれの自治区（チベット自治区，コワンシーチョワン族自治区）も確認しておいてください。

ではここからが本番ですね。論述問題にチャレンジしていきましょう。

まず（４）について。この河川は黄河です。乾燥地域を流れる外来河川の代表例で，中国の古代文明を支えました。流域における環境問題について言及することが求められています。50字と比較的長い字数制限であるので，２つのトピックを取り上げるのが適切に思われます。

チベット高原北部を水源とする黄河は，中流部で黄土高原の乾燥地帯を通過します。この地域では，世界中の乾燥地域と同様に砂漠化の進行が深刻です。また斜面に耕地を開くことによって生じる土壌侵食（土壌流出）の被害が大きい地域でもあります。土壌侵食は日本ではあまり見られないため普段はほとんど意識することはありませんが，アメリカ合衆国においても非常に深刻な環境問題であり，知識を固めておくことが必要でしょう。

さらに下流側の華北平原は大都市が連続する人口稠密地帯であり，小麦などの

栽培が盛んな農業地帯でもあります。生活用水や農業用水の供給が過剰であり，このため流水が涸れてしまうという問題が生じています。この現象を「断流」と言いますので，文字数制限に収めるためにもこのキーワードを使って，水が不足する状況を説明してみましょう。また，水資源の有効な利用のためにダムも多く作られているのですが，ダム湖に大量の土砂が堆積し，貯水量が減少してしまうという問題も発生しています。あるいは，ダム以外の場所でも，土砂により河床が上昇するため，洪水が頻発しています。こういったことを意識しながら，ポイントを整理しつつ，50字以内にまとめてみてください。

続いて（**5**）に進みましょう。今度は40字ですので，さらに文章を効率よくまとめることが求められています。中国の人口抑制政策である一人っ子政策がテーマとなっています。一人っ子政策自体は，2015年に廃止されていますが，このように問題として取り上げられることはあるでしょうから，知っておくべきです。中国人口の90％を占める漢民族に適用され，少数民族は適用外です。もっと詳しい規定もあるのですが（例えば都市と農村で条件が異なる，夫婦のどちらかが漢民族でない場合には適用されない，双子の場合は許容されるなど），以下のように大雑把に知っておけば十分です。

大きく３つのポイントがあります。一つ目は男女比の不均衡。後継として男子を求める傾向が強いため，例えば妊娠時に女児と判明した場合には中絶が行われることもあるそうです。あるいは富裕層の場合は，最初の子供が女子だった場合には，罰金を払ってでも二人目の子供をもうける例もみられます。

二つ目は過保護の問題。家族にとって唯一の子供であるので，どうしても過保護となり，わがままな性格になりやすいとも言われています。食事も十分に与えられ，肥満児の割合も高まっています。

三つ目は「黒孩子（ヘイハイズ）」の問題。黒孩子とは密かにもうけた戸籍外の子供であり，いわゆる闇っ子です。届け出をしていないので，教育や医療などのサービスを受けることが困難になります。現在こうした子供の数は1000万人以上に上るという統計もあります。黒孩子という特殊な用語を論述問題で使用するのはあまり好ましいとは思われないので，ここでは「戸籍外の子供の増加」というような表現を用いるべきでしょう。

もちろん，将来的には急激な高齢化が進みますし，生産年齢人口の減少による経済活動の停滞や社会保障費負担の増加などの問題も考えられます。ただし，今回は40字という字数制限もあり，そうした発展的内容に触れることはできない

と思われます。

さらに(６)では経済特区の説明です。このような地理用語については，普段から意識して勉強しておくようにしてくださいね。過去問を研究すれば，出題率が高いキーワードについては十分に予想できると思います。

さて，その経済特区ですが，ここでは60字という比較的長い字数制限が与えられており，どうやって字数を稼ぐかが肝となります。例えば，最も簡単に書こうとすれば「税制面などで優遇し，外国企業を積極的に誘致した地区」でおしまいなのですが，もちろんこれでは全然字数が足りません。例えば「華南」という場所を取り上げたり，「1970年代後半から」という年号を入れることも可能でしょう。さらには「労働集約型の製造業が進出」，「輸出を前提として生産活動を行う」など，より深い内容にコミットしてもいいかもしれません。先の外国企業については「外資の導入」と言い換えても構いませんし，工業の種類にしても「輸出指向型工業」と詳しく語ることもできます。さらに中国の政策として「改革開放」の文字を入れてもいいでしょう。「外国の技術を導入」も有りでしょう。内容は簡単なのですが，字数を満たすためにさまざまな工夫が必要になります。決まった正解はありませんので，各自の判断で文章を紡いでみてください。

経済特区名については，シェンチェンが最も有名ですが，アモイ，スワトウ，チューハイ，ハイナン島も該当します。

最後の問題(７)も(６)と似た傾向があります。つまり，書くべき内容は簡単なのに，字数が必要以上に多いのです。「民間企業関係者」の割合が高いことは納得ですね。つまり日本企業がそれだけ多く進出しているのです(日本企業については，日系企業でも，日本企業の現地法人という言い方でも特に構わないと思います)。しかしこれだけでは字数が満たせません。例えば，どういった日本人が多く滞在しているのかについて言及してもいいでしょう。「管理」や「技術指導」でしょうか。あるいは，日本企業が多く進出していることの理由や結果について触れてもいいかもしれません。「中国との経済交流はさらに深まっている」などのように。論述問題では，この問題にとどまらず，書くべき内容と字数制限とのアンバランスがしばしばみられます。こうした問題が問われた場合に「いかにして字数を稼ぐか」というテクニックもぜひ身につけて欲しいものです。

なお，日本の長期滞在者が最も多い中国の都市についてはシャンハイで間違いないでしょう。そもそも中国最大の商工業都市ですし，輸出加工区(プートン新区)が設けられているなど，日本企業の進出も盛んです。政府関係の仕事ならば首都

のペキンが多いのでしょうが，グラフを見る限り，政府関係職員の数は限定的ですし，ペキンにおける日本人の数がシャンハイを上回るとは思えません。

(注)「市」としての人口はチョンチンがシャンハイを上回るものの，チョンチンの市域は極めて広大で一般の省と同じ規模であり，両者の比較は単純にはできません。実質的な都市の範囲を示す「都市域」人口を比較した場合，中国最大の人口を有する都市はシャンハイとなります。統計上１位のチョンチン，実質的に都市としての規模が大きいシャンハイであると理解してください。例えばシャンハイについては「中国最大の商工業都市」という言い方がしばしばされます。

[５－２]

ユーラシア大陸をテーマとした地誌問題ですが，内容は自然環境に偏っています。科学的な視点によって，事象を解析していきましょう。

設問Ａの(１)から解いていきましょう。３つともほぼ同じ緯度ですので，太陽から受け取る熱エネルギーは等しく，本来ならば気温の高低に違いはないはずなのです。しかし，**図２**にあるような変化が生まれる理由は何なのでしょうか。

最も西に位置するａの判定は容易と思います。ユーラシア大陸のウラル山脈(おおよそ東経60°の経線に沿っています。アラル海が目安となります)以西のヨーロッパ地域は，偏西風の影響が強く，年間を通じ気温や降水量に大きな変化がみられない，穏やかな気候となります。海流の影響を受ける西ヨーロッパの大西洋沿岸で最もこの傾向は顕著なものになりますが，ａについてもそれにならった気候がみられると予想して構わないでしょう。

ｂとｃの判定は困難です。大陸性気候がみられるという点においては共通しています。ここは夏の気温に注目してみましょう。ほとんど同じ緯度，同じ大陸性気候という条件でありながら，**ウ**の方が夏は冷涼となっているのです。これはどういった理由が考えられるでしょう。このことについては「標高」を考えるべきですね。標高が高い分だけ気温が逓減されているわけです。ｂとｃ，高原に位置しているのはどちらでしょうか。少し知識は必要ですが，周辺の地形も含めて考えれば解答は導けると思います。

さらに「冬期の気温が地点ごとに異なる理由」について考えていきましょう。ａは明確ですね。上述したように「偏西風」の影響を述べればオッケイです。さすがに海洋性気候とまでは言えないのですが，他地点のような顕著な大陸性気候はみられません。ｂとｃについては，同じく先に述べたように「標高」について言及したいのですが，ちょっと待ってください。イとウを比較した場合，夏の気温差と冬の気温差には大きな違いがあるのです。夏の気温の違いについて標高の違いで説明したとしても，冬の気温についてはそれ以上の違いがあるのですから，これについては他の要因を挙げないといけません。ポイントになるのはｃの位置です。北半球の寒極オイミャコンがロシア東部に位置するように，ユーラシア大陸高緯度地域において冬期の気温がとくに低くなるのはシベリアを含む東部一帯なのです。偏西風の影響もおよばず，シベリア中央部には巨大な高気圧（シベリア高気圧）が発生し，冬の気温は極端に低下します。このことを踏まえ，ｃの冬の気温の低さを説明してみてください。単に「シベリア高気圧の影響」としても構いませんし，「大陸内部から吹き出す寒冷な風の影響」でもいいですし，あるいは「放射冷却」といった言葉を用いることも可能です。

（２）は家畜の種類と飼育頭数に関する問題です。乾燥地域の羊が最大のポイントになりますが，馬がモンゴル中心に飼育されていることを知っておくべきでしょう。

さらに（３）は湖に関する問題です。２つのトピックで60字なのですから，１つにつき30字で論述しないといけません。事例をシンプルに説明しましょう。

湖Ｓはバイカル湖です。周辺でパルプ工業が発達していますが，この工業は製品処理時に廃水を生じ，湖水の汚濁の原因となります。

湖Ｔはアラル海です。流入する河川の水量が減少したことで湖面が縮小しました。綿花栽培のための灌漑用水として河川水が用いられたことが原因です。

これらのことがらについて字数を絞り，さらに「気候」や「人為」というキーワードを使用してまとめてみましょう。

［５－３］

ラテンアメリカの地誌に関する問題です。まず最初に貿易統計が示されていま

すが，ここで国名を間違うと致命的なミスとなります。統計は共通テストでも頻繁に出題される部分でもありますので，論述対策以前の基礎的な知識として，必ずマスターしていきましょう。

では，その貿易統計を参照しながら，A～Eの国を特定しましょう。Aは輸出総額が極めて大きく，原油や自動車の輸出が多いことからメキシコとなります。NAFTA（現USMCA）に調印する国であり，アメリカ合衆国などと自由貿易が成立していることから，貿易額が大きくなるのです。Bも同じく輸出額が大きいのですが，こちらは大豆の輸出に特徴があり，ブラジルに該当します。人口規模が大きく，ラテンアメリカ最大の経済規模（GNI）を有する国です。Cは輸出品の上位品目が大豆など農産物で占められているという変わった傾向を持つ国で，アルゼンチンに該当します。Dはやや難解ですが，原油と石炭の輸出に特徴があり，コロンビアです。南アメリカ大陸の国は数が限られているので，全ての国について貿易品目をまとめておきましょう。Eはアルミナとボーキサイトからジャマイカとなります。カリブ海の小さな島国ですが，ボーキサイトの産出に特徴があります。

では問題を見ていきましょう。

まず（１）ですが，ジャマイカについての説明が求められています。ラテンアメリカの他の国々とは異なり，イギリスによって植民地支配されていました。先住のインディオが白人による迫害や伝染病の流行によってほぼ死に絶えてしまい，後に流入した黒人奴隷の子孫が国民の大部分を占めています。奴隷たちは主にサトウキビ栽培に従事していました。公用語は英語です。「歴史」について論述することが求められていますが，これについては「旧イギリス植民地」という内容に触れるだけでいいでしょう。文字数には比較的余裕がありますので，論述はさほど難しくないのでは。

さらに（２）ですが，いわゆるパタゴニア地方に関する内容です。南アメリカ大陸南部の地域をパタゴニア地方といい，西側はチリ，東側はアルゼンチンです（このアルゼンチン側のみをパタゴニア地方という場合もあります）。チリ側は湿った偏西風がアンデス山脈に吹き込む風上斜面側に当たり，降水量は極めて多くなります。沿岸にはフィヨルドによる複雑な海岸線がみられ，周囲は農業には適さないものの，豊かな森林地帯となっています。アルゼンチン側は，偏西風の風下斜面側に当たり，アンデス山脈から乾いた風が吹き降す少雨地域となっています。

ステップ気候や砂漠気候がみられる荒涼な台地では，粗放的な牧羊が営まれる他，最近は油田の開発が盛んに行われています。今回は用語を答えるだけの問題ですが，パタゴニア地方については論述問題としての出題も十分に考えられますので，整理しておくと良いでしょう。

（３）は農産物の原産地がポイントになっています。みなさんもよく知っていると思いますので，答えを言ってしまいますね。Ｙが「コーヒー」です。コロンビアの主要な輸出品目の一つとなっています。コーヒーの世界最大の生産国および輸出国はブラジルですが，経済規模が大きいブラジルにおいてはコーヒーの経済的価値は決して高くありません。これに対し，コロンビアはコーヒーの世界４位の生産国であり，同じく世界３位の輸出国ですが，経済規模が小さく，貿易額そのものもブラジルに比べ少ないため，輸出総額に占めるコーヒーの割合が高くなります。

また「アマゾン川流域が原産」でありながら，現在は東南アジアで栽培が盛んな商品作物は「天然ゴム」ですね。原産地域が問われることが多いので，必ず整理しておきましょう。

（４）もとくに問題ないでしょう。特定の一次産品（商品作物や鉱産資源）に依存した経済で「モノカルチャー経済」が正解です。Ｘはブラジルで輸出が多いので，「鉄鉱石」となります。

（５）は70字と比較的長文による説明が求められているので苦労しそうですね。段階を追って記述しましょう。

Ａ国はメキシコです。メキシコは経済規模（GNI）に比して貿易額が大きな国なのですが，その背景にはアメリカ合衆国との関係があります。メキシコの安価な労働力の利用を目的として，国境を越え多くの機械組み立て工業がアメリカ合衆国から進出してきました。当初，工場が集中していたのは国境線に沿う一帯で，マキラドーラとよばれる保税輸出加工地区でした。まず，解答の前半では「アメリカ合衆国との国境沿い」，「マキラドーラ」は強調して記述しないといけません。やがて1990年代前半にカナダを含めた３カ国でNAFTA（北アメリカ自由貿易協定）が調印されると，自由貿易の範囲はメキシコ国内全域へと広がりました。アメリカ合衆国から進出する工場の範囲も，メキシコシティ周辺など国境線から遠く離れた地域へと拡大します。解答の後半では「NAFTA」をキーワードとして，この

様子を論じてください。もちろんこれだけでは文字数を満たすことができないかもしれませんので，後は的外れにならない範囲で様々な語句を付け加えると良いでしょう。「労働集約」や「より安価な労働力を求めて」，「さらに両国の貿易依存関係は強まった」，「近年では電気機械だけでなく自動車の工場の立地も目立つ」など，いろいろ考えられるのではないでしょうか。自動車工場が立地している（つまりアメリカ合衆国から工場が進出している）「モンテレー」という都市名を挙げるのも一つの手ですね。都市名は，こうした論述問題でも利用できる可能性があるので，たくさん知っておくと得ですよ。

最後の（６）については地理ではめずらしく法律に関する問題ですが，非常に出題率が高い話題なので確実に解答できるようにしておきましょう。よく知られている事例とは思いますので，「出入国管理法の改正」，「日系人に限り外国人単純労働力の受け入れ」，「日系人人口の多いブラジルからの入国が増えた」など，うまくキーワードを組み合わせて説明してください。

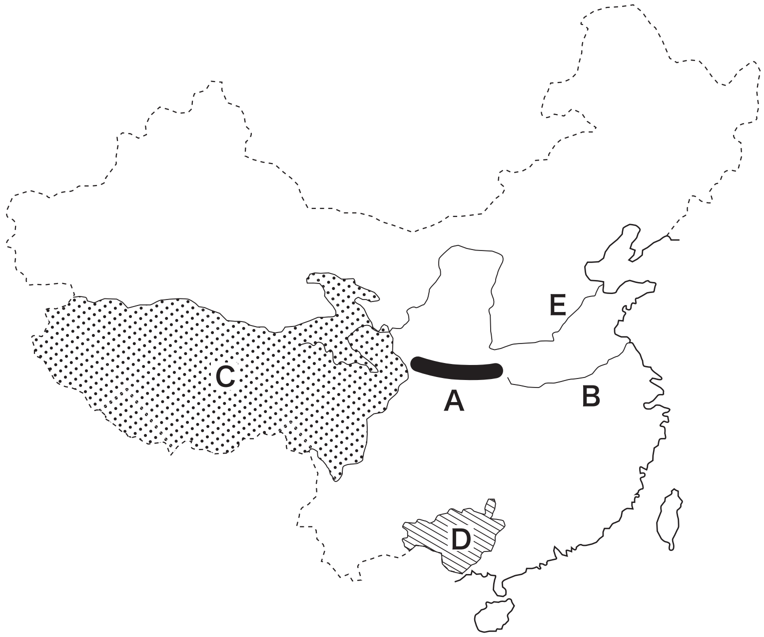
（注１）NAFTA（北米自由貿易協定）は現在失効し，その発展型であるUSMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）が2020年に発効されています。内容に細かな差異はあるものの，現状で３カ国の貿易に大きな変化は現れておらず，細かな理解は不要に思います。名称のみ覚えておきましょう。

（注２）日本国内のブラジル人の登録者・在留者数は1990年代前半には急増したものの，2000年以降は停滞傾向にあることも知っておきましょう（減少もしくは微増）。リーマンショックによる不況や東日本大震災の影響などによります。

第５講　練習問題

［５－１］ 京大　2011年度・第３問

下の地図を見て，問(１)～(７)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については，句読点も字数に含めよ。



問

(１)地図中の，北部の畑作地域と南部の稲作地域を分ける山脈Ａ(解答欄①)と河川Ｂ(解答欄②)の名前を答えよ。

(２)中国は国土が広大であり，国内の気候が多様である。中国でみられない気候を，以下のあ～かから２つ選べ。

あ　温暖湿潤気候
い　温暖冬季少雨気候
う　砂漠気候
え　西岸海洋性気候
お　熱帯雨林気候
か　冷帯冬季少雨気候

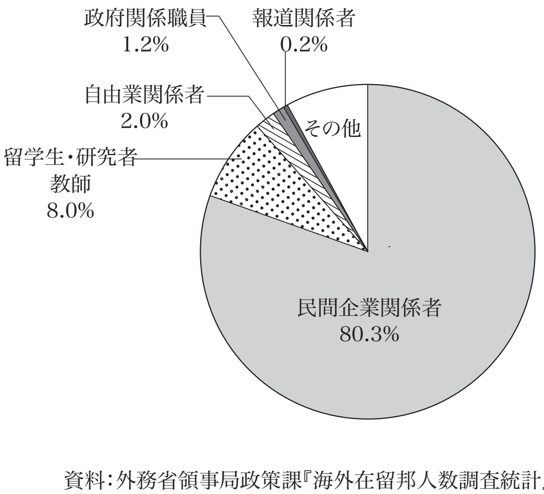
（３）地図中の地域Ｃ（解答欄①）と地域Ｄ（解答欄②）に分布する主要な少数民族名を答えよ。

（４）地図中の河川Ｅの流域においてどのような環境問題がみられるか，50字以内で述べよ。

（５）中国では，漢民族の１組の夫婦に子供は１人とする一人っ子政策が，1979年に始まった。この結果，出生率は低下したが，問題点のあることも知られている。どのような問題点か，40字以内で述べよ。

（６）近年における中国の工業生産の伸びは著しいが，そのきっかけとなった経済特区について，60字以内で説明せよ（解答欄①）。また，経済特区名を１つ挙げよ（解答欄②）。

（７）下の図は，2008年において中国に長期滞在している日本人の職業別割合を示したものである。民間企業関係者が圧倒的に多い理由を，50字以内で述べよ（解答欄①）。さらに，日本人の長期滞在者が最も多い中国の都市を挙げよ（解答欄②）。



資料：外務省領事局政策課『海外在留邦人数調査統計』

［５－２］ 東大　2012年度・第１問

ユーラシアとアメリカ合衆国の自然・産業・文化に関する以下の設問Ａ～Ｂに答えなさい。解答は，解答用紙の(イ)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問Ａ

次の**図１**は，北緯50°を中心にユーラシア大陸の一部を示したものである。同じ北緯50°付近であっても，自然環境は場所によって大きく異なる。

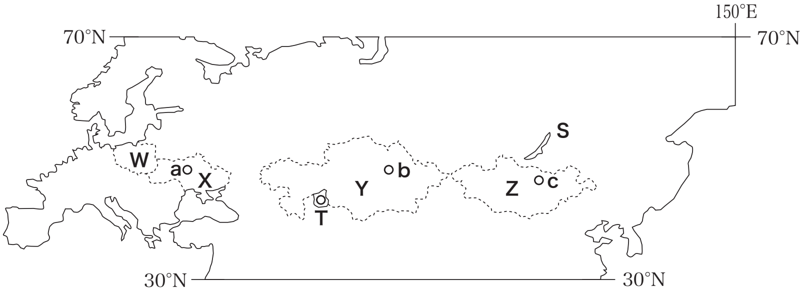


図１

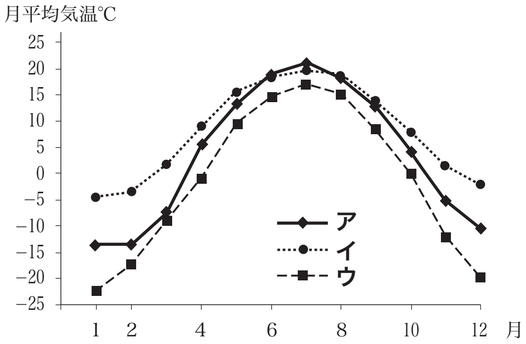
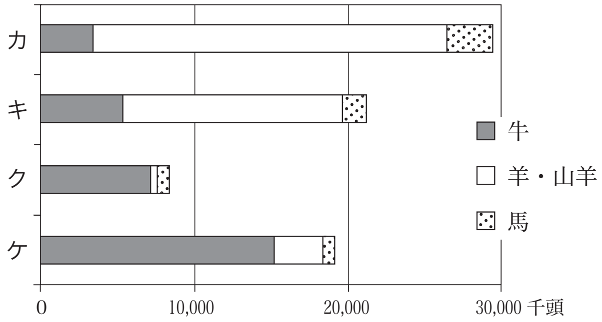


図２



FAO資料による。

図３

（1）**図2**は，**図1**中の**a**，**b**，**c**の各地点の気温の年変化を表したグラフである。**ア**～**ウ**に該当する地点の記号を，**ア**－○のように答えなさい。また，冬期の気温が地点ごとに異なる理由を，60字以内で説明しなさい。

（2）**図3**は，**図1**中の**W**，**X**，**Y**，**Z**の各国で飼育されている牛，羊・山羊，馬の頭数を示している。**カ**～**ケ**に対応する国の記号を，それぞれ，**カ**－○のように答えなさい。

（3）**図1**の湖**S**と湖**T**について，周辺の流域環境との関わりにふれながら，湖水深と水質の特徴，ならびにそれらの最近の変化に関して，下記の語句を全部用いて60字以内で説明しなさい。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所に下線を引くこと。

気候　人為

（4）（省略）

設問B（省略）

［５－３］　京大　2013年度・第４問

ラテンアメリカに関する以下の文を読み，問(１)～(６)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については，句読点も字数に含めよ。

アメリカ大陸のメキシコ以南の地域はラテンアメリカと呼ばれている。ラテンアメリカは，中央アメリカ，(ア)カリブ地域，アンデス地域，アマゾン川流域の熱帯地域，コノ・スール(南の円錐)とよばれる(イ)南アメリカ南部地域の５地域に分けることができる。下の表のＡ～Ｅは，上記の５地域からそれぞれ１か国を選んだものである。

ラテンアメリカの多くの国では，(ウ)プランテーション作物や鉱産資源など，(エ)特定の一次産品を先進国に輸出する経済が続いていたが，20世紀半ばから工業化が試みられるようになった。(オ)1990年代になると，いくつかの国においては急速に工業化が進展していった。下の表のＡ，Ｂ，Ｃの３か国は，1980年代には巨額の累積債務を抱えていたが，今ではG20(主要20か国・地域)の一角を占めている。その一方，これらの国々でも国内の地域格差はいぜんとして解消されず，農村から都市への人口移動は継続し，(カ)国外で出稼ぎする人も増加している。

表　ラテンアメリカ５か国(Ａ～Ｅ)の2008年の主要輸出品目

国	輸出総額(億ドル)	上段：輸出額の上位５品目 下段：各品目が各国の輸出総額に占める比率(％)				
Ａ	2,912.6	原　油 14.9	テレビ 7.7	自動車 7.4	通信機器類 6.1	自動車部品 4.0
Ｂ	1,979.4	Ｘ 8.4	原　油 6.9	大　豆 5.5	鶏肉類 3.0	航空機 2.8
Ｃ	700.2	油かす 10.2	大豆油 7.0	大　豆 6.5	トウモロコシ 5.0	石油製品 4.6
Ｄ	376.3	原　油 24.7	石　炭 12.2	石油製品 7.3	Ｙ 5.1	切り花 2.9
Ｅ	24.4	アルミナ 51.1	石油製品 17.9	アルコール類 6.2	ボーキサイト 4.7	砂糖類 4.3

資料：The 2009 International Trade Statistics Yearbook(http://comtrade.un.org/)

問

(１)下線部アの地域にある前の表のＥ国は，ラテンアメリカのほかの４つの地域の国々には見られない文化的特徴をもっている。その特徴を，歴史，住民，言語という側面から50字以内で述べよ。

（**2**）下線部**イ**の南緯40度以南の地域において，太平洋側と大西洋側の自然環境は大きく異なっている。太平洋側の海岸に特徴的な地形を解答欄①に，大西洋側において卓越する気候区を解答欄②に答えよ。

（**3**）下線部**ウ**の代表的なものの１つに前の表の**Y**がある。アフリカ大陸を原産地とするこの農産物**Y**の名称を解答欄①に答えよ。また，アマゾン川流域が原産地だが，現在ではアメリカ大陸以外の熱帯地域が主要な生産地となっている輸出用商品作物の名前を解答欄②に答えよ。

（**4**）下線部**エ**の経済の名称を解答欄①に答えよ。また，表中の**X**に該当する鉱産物の名称を解答欄②に答えよ。

（**5**）下線部**オ**について，**A**国の輸出向け工業の立地は，1994年のNAFTA（北米自由貿易協定）成立を契機として大きく変化している。その変化の特徴を70字以内で述べよ。

（**6**）下線部**カ**に関して，**B**国では日本に出稼ぎする人が1990年代になって増加している。その背景について，50字以内で述べよ。

第５講　確認テスト

［１］　東大　2007年度・第１問

ヨーロッパの自然環境に関連する以下の設問Ａ～Ｂに答えなさい。解答は，解答用紙の(イ)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問Ａ

ヨーロッパの自然環境のおいたちに関する次の文章を読んで，以下の小問に答えなさい。

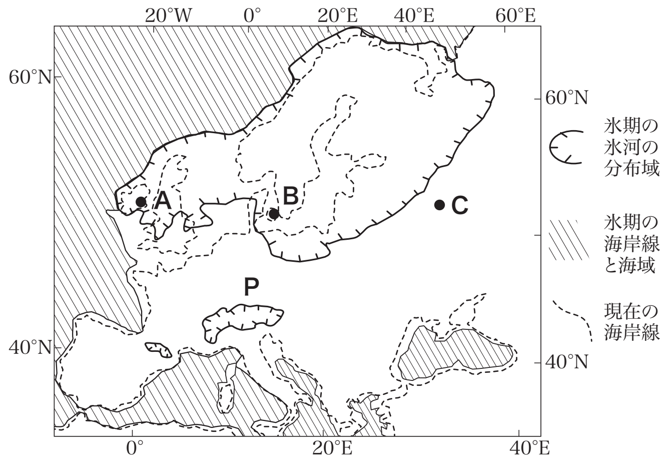


図１

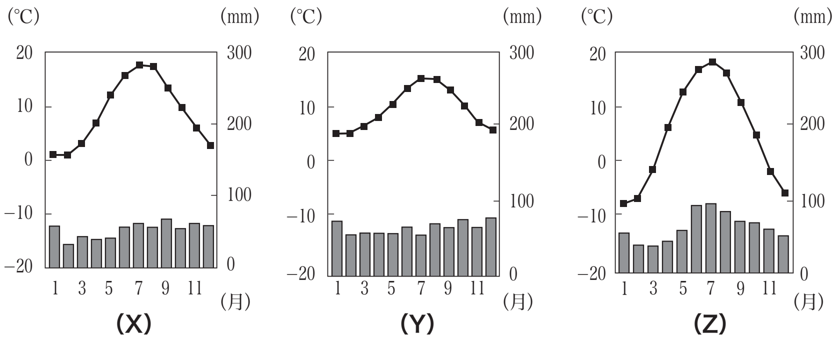


図２

地球では，過去約200万年の間に，寒冷な時期（氷期）と温暖な時期（間氷期）とが約10万年周期で繰返し訪れた。現在は間氷期にあたるが，氷期には高緯度地域や高山地域は広く氷河に覆われた。上の**図１**は，ヨーロッパにおける氷期の氷

河の分布域と，（ａ）氷期と現在の海岸線の位置を示したものである。**図２**は北緯55度付近に位置する主要都市と現在の気温と降水量のグラフである。氷河の侵食作用が形成された谷地形は，その特徴的な横断面形から［**ア**］と呼ばれる。スカンジナビア半島西岸では，［**ア**］に海水が侵入してできた［**イ**］を（ｂ）冬季も海水が凍結しない天然の良港として利用してきた。また，氷期に氷河が覆った地域には，（ｃ）湿地や湖がしばしばみられる。バルト海南部沿岸地域やイギリスでは，土壌がやせているため，［**ウ**］中心の農業が行われている場所が多い。そのうち，**図１**のＰ地域では，大きな標高差と気候の季節変化を生かした［**エ**］が行われている。

（１）ア～エに入る適切な語句を答えなさい。

（２）図２のＸ～Ｚは，図１中のＡ～Ｃの都市のいずれかの気温と降水量の年変化を表したグラフである。Ｘ～Ｚがいずれの都市に対応するか，Ｘ－○のように答えなさい。

（３）下線ａについて，氷期の海岸線は現在の海岸線とどのような位置関係にあるか。そのような位置関係の変化が生じた理由とともに60字以内で述べなさい。

（４）下線ｂの理由を30字以内で述べなさい。

（５）下線ｃでは，近年の人間活動によって，水質が変化し，生態系の破壊が深刻化している。この環境問題はどのようなものか，30字以内で述べなさい。

設問Ｂ（省略）

〈Memo〉

練習問題解答

第１講
練習問題・解答

［１－１］

設問Ａ
（ア）－インド　（イ）－中国　（ウ）－アメリカ合衆国　（エ）－ドイツ

設問Ｂ
多産多死だったが，高い出生率が維持された状態で衛生環境の改善や医療技術の進歩で乳児死亡率が低下し，多産少死となったから。（60字）

設問Ｃ
（１）漢民族に一人っ子政策が適用され，出生率が低下したから。（27字）

（２）ヒスパニックなど移民の流入，および彼らの出生率が高いから。（29字）

設問Ｄ
女性の社会進出による晩婚化や少子化などによって出生率が低下し，医療技術の進歩などにより平均寿命が延びたことで，少産少死となったから。人口ピラミッドも釣鐘型からつぼ型に移行している。（90字）

［１－２］

設問Ａ　記号－イ
地価の高騰や住環境の悪化により都心から人口が流出し，交通手段の整備や宅地開発が進むことで郊外への転居者が増加するから。（59字）

設問Ｂ
農地や林地の中に住宅が無秩序に混在し，宅地開発が計画的ではない場合，道路や下水道などのインフラ整備，学校や公民館の建設などの公共投資が効率的に行

われず，住民の利便性が損なわれる。(89字)

設問Ｃ

(１)日本のニュータウンは職住分離。郊外から都心部へと通勤ラッシュが生じる。昼間人口が少なく，地域コミュニティの形成が困難。(59字)

(２)開発当時は若い世代が多く，その子供世代の人数も多かったが，経年により住民構成が高齢化すると就学年代の子供の数が減少した。(60字)

［１－３］

(１)①　Ｄ　②　ブラジリア

(２)プライメートシティ(首位都市)

(３)①　バンコク　　②　都心から郊外に向けて道路や鉄道など交通インフラが整備された。大規模な工業団地も建設され，日系企業も多く進出している。(58字)

(４)①　メキシコシティ　②　盆地状の高原に位置し空気が薄く，不完全燃焼による大気汚染物質が滞留しやすい。(38字)

(５)①　原油　②　砂漠化。主に降水量の減少によるが，過放牧や薪炭材の過伐採等人為的な要因も大きい。(40字)

第２講
練習問題・解答

［２−１］

（１）国際分業（体制）

（２）**ア**−アメリカ合衆国　**イ**−オーストラリア　**ウ**−フィリピン
　　エ−スリランカ　**X**−⑤　**Y**−②

（３）国内総生産すなわち経済規模が大きくなるほど貿易の比重は小さくなる。

（４）発展途上国が鉱産資源や商品作物など一次産品を輸出し，先進国が高付加価値の工業製品を輸出する貿易の形。(50字)

（５）複数の国や地域により締結される貿易協定。関税や貿易障壁の撤廃で貿易を拡大し，経済関係を緊密化する。(49字)

（６）①　欧米の先進国の地位が低下し，2000年にはアジアNIEsが台頭，そして近年は中国の地位が上昇している。
カ−シャンハイ　**キ**−ユーロポート（ロッテルダム）

［２−２］

設問B
（１）オイルショックにより低燃費の日本車需要が欧米市場で高まり，1980年代前半まで輸出が拡大。だが円高や貿易摩擦を契機とし，アメリカ合衆国での現地生産を拡大したため，以降は輸出が減少。(90字)

（２）円高や賃金の上昇で国内での生産はコスト高となったため，安価で豊富な労働力を求めASEANでの海外生産を拡大した。国内での生産と輸出は急減したが，

ASEAN諸国からの輸入は増加した。(90字)

［２－３］

設問Ａ

（１）(ア)－フランス　(イ)－イギリス　(ウ)－スペイン

（２）イギリスでは大規模な小麦栽培により穀類自給率が高い。冷涼でジャガイモなどいも類の生産も多い。スペインは温暖で野菜の生産が多く，またイベリコ豚など家畜飼育も盛ん。以上の理由による。(89字)

（３）野菜栽培など集約的な園芸農業が営まれているが，低湿な干拓地は作物栽培に適さず牧草地として利用され，酪農が行われている。(59字)

（４）これらの道県は積雪の多い地域に位置し，広く水田単作地帯となっている。価格は安いが熱量の高い米が栽培の中心であるため。(58字)

（５）これらの都府県では高品質の果実や温室を利用した野菜の栽培が盛んである。そうした作物は熱量に比して価格が高くなるから。(58字)

設問Ｃ

所得水準の向上で食生活が多様化し，肉類の供給も増加した。家畜の飼料用の大豆の需要も高まり，不足分を輸入に依存したから。(59字)

第３講
練習問題・解答

［３－１］

（１）雨季乾季の明瞭な地域のカリバダムは渇水期の農業用水確保。寒冷地のクラスノヤルスクダムは初夏の融氷融雪期の増水への備え。(59字)

（２）中部・四国地方は地形が険しく河川勾配が急。多雨で流量も多い。中国地方はなだらかで流れも緩やか。少雨で流量も少ない。(57字)

（３）ダムに土砂が堆積することで貯水量が減少する。治水効果が下がり洪水が頻発するほか水資源の減少で灌漑や発電の能力も下がる。下流側へ流出する土砂が減少することから，海岸侵食が生じる。(88字)

（４）Ｃ。森林地域の土壌はよく雨水を浸透させ，高い保水力を持つ。土壌中に蓄えられた雨水は長い時間をかけて少しずつ流れ出し，河川の流量変化は穏やかなものとなる。洪水を防ぐ治水能力を有する。(90字)

（５）冬の間に積雪や氷河として標高の高い山岳部に蓄えられた水は，春から夏にかけて融氷水や融雪水として周辺に流出する。水の需要の多い季節や渇水期に農業用水や生活用水として利用される。(87字)

［３－２］

設問Ｂ
①と③では西岸海洋性気候がみられ，偏西風の影響で年間を通じ穏やかな気候となる。②と④と⑤では地中海性気候がみられ，夏は亜熱帯高圧帯の影響で乾季，冬は偏西風や寒帯前線の影響で湿潤。(89字)

設問Ｃ
フィヨルドなどの十分な水深をもった深い入り江がみられる。波が静かであるので港湾に適し，貿易や漁業が発達した。(54字)

設問Ｄ
②は降水量が多く，後背地は森林であり，林業が発達している。④の後背地は農業地帯であり，酪農や果樹栽培の他，企業的穀物農業が営まれ大規模な小麦栽培が行われている。⑤の後背地は地中海式農業地域であり，灌漑による柑橘類の栽培がみられる。(115字)

［３－３］

設問Ａ
(１)地域Ａは海岸側。沿岸を北上する寒流の影響で大気が安定し上昇気流を生じず雲が発生しにくい。地域Ｂは内陸側。この緯度帯では年間を通じ中緯度高圧帯の影響が強く下降気流が卓越し少雨となる。(90字)

(２)ジャガイモ，リャマ(アルパカ)

(３)５～10月。湿った南西季節風が吹き込み地形性降雨を生ずる。(29字)

(４)ア－米　イ－茶

設問Ｂ
大規模農業による土壌流出，地下水の過剰使用に起因する地盤沈下，不適切な灌漑による塩害が生じる。農産物を輸送する際に重油を使用するため，化石燃料の枯渇や二酸化炭素の増加が懸念される。(90字)
(別解１)土壌流出や連作障害，地下水の過剰使用による地盤沈下や不適切な灌漑による塩害等の環境問題が生じる。農産物を輸送する際に重油を使用するため化石燃料の枯渇や二酸化炭素の増加が懸念される。(90字)
(別解２)(半分のみ)安価な農産物の流入により食料輸入国では国内の農業が衰退し将来的に食料危機の危険性が高まる。(45字)

第４講
練習問題・解答

［４－１］

設問Ａ

年間を通じて気温の高い気温年較差の小さい気候。高日季は赤道低圧帯などの影響で雨季，低日季は中緯度高圧帯などの影響で乾季。(60字)

設問Ｂ

ａは集約的稲作農業。家族中心の零細経営によって河川沿いの沖積平野で水田耕作が行われる。ｂはプランテーション農業。大土地所有制の下，大農園でサトウキビなどが単一栽培される。(85字)

設問Ｃ

激しい降水で栄養分が流出する。高温であるため，微生物の活動が活発で有機物の分解が速い。地表面に酸化した金属が集積する。(59字)

設問Ｄ

河川沿いには耕作に適した低平な土地が多く，水利も良い。洪水によって上流側から天然の肥沃土も供給される。(51字)

［４－２］

設問Ａ

（１）ａは熱帯雨林。多種類の常緑広葉樹からなる密林である。ｂはタイガ。単一の樹種からなる純林で針葉樹である。(51字)

（２）アフリカ北部とオーストラリア内陸部。中緯度高圧帯の影響によって降水量が少なく，気温が高いため蒸発量も多い。(53字)

（３）中国東部とインド北部。温暖で湿潤な気候がみられ，平坦な土地も多く，莫大な人口を支えるため広く耕地が開かれている。(56字)
(別解)ルソン島やタイ北部。豊かな森林地帯であったが，日本向けの輸出用木材の供出地として広く森林が伐採された。(51字)

［４－３］

（１）生物多様性条約

（２）Q

（３）海面上昇による水没。(10字)

（４）①　チークなど輸出用木材の伐採。油ヤシ栽培のためのプランテーションの造成。(35字)　②　道路の建設，鉄山など鉱山の開発。肉牛飼育用の放牧地，サトウキビ農園の造成。(37字)

（５）多雨による表土流出やラテライト化。(17字)

（６）スギ(ヒノキ)

（７）①　植林や森林管理，伐採など作業用の林道。(19字)　②　安価な外国材の輸入で国内林業が不振となり，伐採時期を過ぎた老木が増加。林業就業者が高齢化し，森林管理が十分に行われない。(60字)

第５講
練習問題・解答

［５－１］

（１）①　チンリン山脈　②　ホワイ川

（２）え・お

（３）①　チベット族　②　チョワン族

（４）中流域では砂漠化や土壌流出，塩害が生じる。下流域では生活用水や工業用水の需要増により断流が生じる。（49字）

（５）男児が女児より多くなる。戸籍外の子供の増加。将来的に急激な高齢化が進行する。（38字）

（６）①　改革開放政策で華南沿岸部に設けられ，税制面の優遇で外国企業を積極的に誘致。労働集約型の機械工業など集積した輸出加工地域。（60字）

②　シェンチェン（アモイ，スワトウ，チューハイ，ハイナン島）

（７）①　低賃金労働力が得られ，経済規模も大きい中国には多数の日本企業が進出し，技術指導者などが派遣される。（49字）

②　シャンハイ

［５－２］

設問Ａ
（１）ア－ｂ　イ－ａ　ウ－ｃ　大陸西部のａは偏西風の影響で冬期でも温暖である。シベリア南部に近いｃは巨大なシベリア高気圧の影響で冬期とくに寒冷とな

る。(60字)

(２)カ－Z　キ－Y　ク－W　ケ－X

(３)湖Sは深い淡水湖。パルプ工業の廃水流入で汚濁が進む。湖Tは乾燥気候の浅い塩水湖。灌漑に起因する人為的な影響で湖水が減少。(60字)

［５－３］

(１)イギリス植民地時代にサトウキビ栽培が始められた。住民は黒人奴隷の子孫が多数を占め，英語が使用される。(50字)

(２)①　フィヨルド　②　砂漠気候

(３)①　コーヒー　②　天然ゴム

(４)①　モノカルチャー経済　②　鉄鉱石

(５)かつてはアメリカ合衆国との国境に沿うマキラドーラに工場が立地していた。現在は国内全域が自由貿易圏となり，メキシコシティ周辺にも工場が進出。(69字)

(６)出入国管理法の改正で日系人に限り外国人単純労働者の就業が認められたが，日系人はブラジルに多いため。(49字)

〈***Note***〉

確認テスト解答

第１講
確認テスト・解答と解説

［1］

設問Ａ

（1）Ａ－中国　Ｂ－スペイン　Ｃ－インドネシア

（2）ヒスパニックなど都市に流入する移民の中心は若年層であり，カトリック教徒である彼らの出生率は高いため，子供の世代も多い。(59字)

（3）韓国の高度経済成長期である1980年代を中心に農村から都市への人口移動がみられたが，彼らはまだ高齢者ではない。(55字)

＜解説＞

（1）３カ国中最も人口増加率の低いスペインは，０～４歳人口割合の低いＢになります。中国は一人っ子政策によって出生率が急激に低下したので，そのことが年少人口に明確に現れているＡが該当します。残ったＣはインドネシアで，こちらは人口増加率が比較的高くなっています。

（2）移民の多くは若年層であり，彼らが都市へと流入してきます。アメリカ合衆国の移民にはメキシコから流入したヒスパニックが多くなっています。また，彼らは主にカトリック教徒ですが，離婚と中絶を禁じられ，出生率が高いことが特徴です。本来ならこれに加え，彼らが貧困層であり，それがゆえに出生率が高いことにも触れるべきでしたが，字数が足りませんでした。

（3）日本の高度経済成長は1960年代が中心で，韓国は1980年代が中心。20年の差があるので，日本とは異なり，都市へと移動した若年層がまだ高齢化していないのです。「韓国の高度経済成長の時期は日本より新しく」というような，日本との対比を述べるべきとも思ったのですが，（2）同様に字数が足りませんでした。みなさんは工夫してみてくださいね。

〈*Note*〉

第２講
確認テスト・解答と解説

［１］

（１）Ａ－モロッコ　Ｂ－南アフリカ　Ｃ－ナイジェリア

（２）Ａ国は旧宗主国や近隣のヨーロッパ諸国との関係が深い。Ｂ国はレアメタルの産出も多く，その需要が大きい経済大国との貿易が主。（60字）

（３）原油の産出と輸出に国内経済が大きく依存するモノカルチャー経済となっている。原油価格の暴落により経済は大きく混乱する。（58字）

（４）中国は資源の供給先としてアフリカを重要視し，盛んに投資を行うなど経済交流が活発化した結果，貿易も拡大した。（53字）

＜解説＞

（１）Ａはモロッコ。旧宗主国であるフランスや近隣のヨーロッパ諸国との貿易が多くなっています。ＢとＣについては，ナイジェリアが産油国であることに注目しましょう。同じく産油国のサウジアラビアが主な輸入先の一つとなっているＢが南アフリカとなり，一方のＣがナイジェリア。ナイジェリアは原油を輸入する必要はないでしょう。

（２）モロッコについては（１）で説明した通りです。南アフリカは白金などレアメタルの産出が多く，輸出先は世界中に広がります。「先進国」としてしまうと中国が該当しないので，ここは「経済大国」としてみました。経済規模を表す指標であるGNI（GDPと同じようなものと思ってください）は世界１位から４位までがアメリカ合衆国，中国，日本，ドイツです。

（３）大きく貿易黒字となっているのは，原油の輸出が極めて多いからです。モノカルチャー経済の問題点を説明しましょう。

（４）例えば，アフリカ南部のアンゴラは原油産出国ですが，最大の輸出相手国は中国です。資源開発を中心として中国からの投資がアフリカ諸国においては増大し，その影響力や経済関係が強化された様子を想像してみましょう。常識的な内容を書けば十分です。

第３講
確認テスト・解答と解説

［１］

設問Ａ
（１）（ア）－極地　（イ）－熱帯　（ウ）－温帯

（２）地軸の傾きのため，極地では太陽からの受熱量の季節的変化が大きいが，低緯度熱帯地域では年間を通じ昼の長さはほぼ一定である。（60字）

＜解説＞

（１）例えば，夏至と冬至に縦線を引いてみましょう。夏至に０時から24時までずっと「高」，冬至に同じくずっと「低」となっている（ア）は，夏は白夜，冬は極夜となる「極地」です。夏至も冬至も同じパターンで，気温日較差が大きい（イ）は，赤道に近い地域で「熱帯」となります。（ウ）は夏の昼にとくに高温となることから，北半球の中緯度地域（つまり「温帯」）と考えられます。

（２）字数制限のため，十分に解答ができていないのでご容赦ください。こうした緯度ごとの気温変化の違いは，地球が地軸を傾けた状態で太陽の周囲を公転していることによって生じます。極地つまり高緯度地域は，夏至に白夜，冬至に極夜となることからわかるように季節による太陽からの受熱量変化は大きくなります。一方，熱帯つまり低緯度地域ではそういった変化は小さく，気温年較差もわずかなものになります。なお，今回，低緯度地域の気温日較差の大きさについては触れていませんが，こちらについても理解を深めておいてください。低緯度地域では，昼の間は強い日射によって気温は上昇します。しかし，夜間は水分の蒸発（毎日夕方になるとスコールに見舞われるのです）によって気化熱が奪われることと，上空に雲がないことによる放射冷却で気温は大きく低下します。昼夜の気温差の激しい気候となるわけです。

［2］

設問A

（1）ア－d　イ－a　ウ－b　エ－c

（2）気温年較差が小さく，年平均気温が低い。季節による太陽からの受熱量変化の小さい赤道付近の都市で，海抜高度が高い。(55字)

＜解説＞

（1）**ア**；地中海性気候のチリ・サンティアゴ。**イ**；赤道付近の高山都市であるエクアドル・キト。**ウ**；寒流の影響で砂漠気候となるペルー・リマ。**エ**；高山都市のボリビア・ラパス。南半球低緯度に位置するので，ほぼ赤道直下の**イ**ほどには全く気温年較差がないわけではありません。

（2）気温年較差が小さい(ほとんどない)こと，全体の気温が低いことの２点について言及する必要があります。字数が余るので「季節による～小さい」という文を加えて字数を調整してみました。

第４講
確認テスト・解答と解説

［１］

設問A

（１）薪炭材や用材としての利用，焼畑が行われる。熱帯林の減少と生態系の破壊，CO_2吸収量の減少による地球温暖化の進行。（56字）

（２）半乾燥気候の下，厚い腐植層を有する黒土が分布し，企業的穀物農業地帯となっている。大規模に商品作物として小麦が栽培される。（60字）

（３）降水量の減少を主たる原因とし，家畜の過放牧や過度の農耕，薪炭材の過剰な伐採などの影響もあり，砂漠化が進行している。（57字）

＜解説＞

（１）箇条書きにしてみました。今回は植生そのものの問題点なので，裸地化による土壌流出は取り上げていません。

（２）「企業的穀物農業」は必須です。ホイットルセー農牧業区分についてはいつでも書けるようにしておきましょう。これに加え，農業キーワードとして「商業的」という言葉を使いたかったのですが，うまく入らなかったので「商品作物」としています。「輸出用作物」という言い方でもよかったかもしれません。また字数に余裕があったので，土壌に関する説明を詳しくしてみました。

（３）砂漠化ですが，主な原因は「降水量の減少」，「気候の変動」です。そこに加えて「家畜の過放牧」，「過耕作」，「薪炭材の過剰な伐採」，「不適切な灌漑による塩害の発生」など砂漠化の人為的な原因を箇条書きで連ねます。字数があれば，過耕作の詳しい説明も入れたかったのですができませんでした。「連作」，「耕作不適地への耕地拡大」，「休耕期間の短縮」などが過耕作の具体例で，いずれも土壌

を劣化させます。

第５講
確認テスト・解答と解説

［１］

設問Ａ

（１）アーＵ字谷　イーフィヨルド　ウー酪農　エー移牧

（２）Ｘ－Ｂ　Ｙ－Ａ　Ｚ－Ｃ

（３）氷期の海岸線は現在より後退し北海など大陸棚の多くの部分は陸化していた。大陸氷河の発達で海水面は100ｍほど低下していた。（60字）

（４）沖合を暖流の北大西洋海流が北上し，冬季の海水温が高いため。（29字）

（５）化石燃料の大量消費による酸性雨で，水域が強酸性化した。（27字）

＜解説＞

（１）ア・イ　ノルウェーの沿岸部などにみられるフィヨルドは，氷河の侵食谷であるＵ字谷に海水が侵入して形成されたもの。ウ・エ　氷河によって侵食された土地はやせており穀物栽培に適さないため，主に牧草地として酪農が行われます。移牧は酪農の一種で，アルプス山脈などでみられる高度差を利用した牧業です。

（２）気温年較差に注目しましょう。沿岸部のＡで最も気温年較差が小さく，内陸部のＣで大きくなります。

（３）当たり前のことを書けばいいと思います（しかし，案外とこういったパターンの方が難しいものですが）。ここでは「北海」や「100ｍ」など具体的な地名や数字を入れていますが，もし確実に知っている知識があれば，うまく文章に利用してください。

（４）単に「北大西洋海流」とするより，それが「暖流」であることを付け加えた方がいいでしょう。また海流の流れ方（今回は「北上」）について述べるのも必須です。

（５）「人間活動」なので「化石燃料の大量消費」の語句は必要でしょう。そこから「酸性雨」に結びつけてください。環境問題は因果関係をはっきりさせることが肝心です。

〈Memo〉